

授業科目 (英名)	疫学・保健統計 (Epidemiology and Biostatistics)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○西連地 利己	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）		
〔授業の概要〕 疫学の概念と疾病頻度の指標、集団における疾病予防の概念とスクリーニング、および感染症やその他の疾患の疫学について学修する。また、地域集団を対象とする看護展開の基礎情報となる人口動態統計や疫学統計、保健統計などの読み取り方と活用方法を学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、疫学の概念及び疫学統計、保健統計などの読み方と活用方法について学修する。			
〔到達目標〕 1. 疫学の概念と歴史を学び、疫学研究の方法を説明する。 2. コホート研究と症例対照研究を比較する。 3. 疾病の頻度の指標を説明する。 4. 基本的な保健統計を説明する。 5. スクリーニング法を説明する。 6. 疫学を身近に感じて活用する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】疫学の紹介 疫学の概念と歴史について学修する		西連地 利己
2	【講義】疾病頻度の指標 有病率、罹患率、致命率、死亡率等の計算方法を学修する		
3	【講義】曝露と疾病発生・曝露効果の指標 相対危険、寄与危険、寄与危険割合、オッズ比等の計算方法を学修する		
4	【講義】疫学における因果関係の立証 疫学の目的である因果関係の成立の要件を学修する		
5	【講義】誤差と偏り（バイアス） 様々な偏り（バイアス）を学修する		
6	【講義】交絡とその制御方法 交絡の制御方法について学修する		
7	【講義】疾病予防とスクリーニング スクリーニング検査の意味や条件および感度、特異度、陽性反応的中度、陰性反応的中度等の計算方法を学修する。また、ROC 曲線について学修する		
8	【講義】保健統計調査 国が実施している統計調査の最新の結果を学修する		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験の成績90%、授業態度(課題提出状況や授業中の小テスト成績を含む)および授業参加度(出席回数)10%とする。 授業中の小テストを実施するかどうかは、当該講義の担当教員が授業内に判断する。 提出課題がある場合の提出締め切りは、当該講義の担当教員が授業内にアナウンスする。			
〔教科書〕 標準保健師講座別巻2 疫学・保健統計学, 医学書院。			
〔参考書・参考資料〕 はじめて学ぶやさしい疫学 ～疫学への招待～, 南江堂。 保健学講座4 疫学/保健統計, メヂカルフレンド社。 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会。 公衆衛生がみえる, メディックメディア。			

授業科目 (英名)	公衆衛生学 (Public Health)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○西連地 利己	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）		
〔授業の概要〕 公衆衛生学は、現実の社会で起こっているさまざまな健康問題を、個人を取り巻く環境・社会との関連から解明する学問である。公衆衛生の歴史的変遷や、環境と健康課題との関連、社会の変容に伴う公衆衛生活動のあり方について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、公衆衛生の歴史的変遷、環境と健康課題との関連、社会の変容に伴う公衆衛生活動のあり方について学修する。			
〔到達目標〕 1. 健康の定義や健康に関連する概念について説明する。 2. 生活と健康との関連について説明する。 3. 健康と生活の支援に必要な保健・医療・福祉制度について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】公衆衛生学概論・社会保障 公衆衛生学の視点や考え方、社会保障制度等を学修する		西連地 利己
2	【講義】保健統計 国が実施している保健統計（人口動態統計等）について最新の調査結果等を学修する		
3	【講義】高齢者保健・歯科保健 介護保険制度をはじめとした高齢者保健制度および歯科保健制度等を学修する		
4	【講義】地域医療・地域保健 医療法、地域保健法、健康増進法など、地域住民の健康づくりための制度等を学修する		
5	【講義】産業保健・学校保健・母子保健 産業保健、学校保健および母子保健の制度等を学修する		
6	【講義】感染症対策・食品衛生 感染症対策や食品衛生の制度等を学修する		
7	【講義】危機管理・災害保険 危機管理対策や災害時の対応等を学修する		
8	【講義】精神保健・環境保健・国際保健 精神保健、環境保健および国際保健の制度等を学修する		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験の成績90%、授業態度(課題提出状況や授業中の小テスト成績を含む)および授業参加度（出席回数）10%とする。 授業中の小テストを実施するかどうかは、当該講義の担当教員が授業内に判断する。 提出課題がある場合の提出締め切りは、当該講義の担当教員が授業内にアナウンスする。			
〔教科書〕 系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生, 医学書院.			
〔参考書・参考資料〕 公衆衛生がみえる, メディックメディア. 学生のための医療概論, 医学書院. 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会.			

授業科目 (英名)	成人看護学 (Adult Nursing)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○鈴木珠水, 佐藤佳子, 須坂洋子, 戸沢智也	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	オムニバス・一部複数		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）		
〔授業の概要〕 成人期にある人とその家族を対象に、健康、ウェルネスの保持・増進のための看護支援について理解する。成人各期の特徴、成人保健の動向と対策、行動・ライフスタイル・職業・生活環境などが健康状態に及ぼす影響及び看護支援について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、成人期にある人とその家族を対象に、健康、ウェルネスの保持・増進のための看護支援について学修する。			
〔到達目標〕 1. 成人の成長発達および成人各期の身体的・心理的・社会的特徴を説明する。 2. 成人の生活、成人を取り巻く環境、および成人保健の動向に関して説明する。 3. 成人各期の健康課題、および健康課題に必要な看護の基本的アプローチを説明する。 4. 成人各期、各病期の特徴をとらえた看護支援について看護理論を活用して説明する。 5. 成人期にある人と家族の健康に影響を与える要因について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】 ガイダンス／ウェルネスの概念、成人期の特徴と成人の生活 健康、ウェルネスの概念、成人の定義、発達段階からとらえた成人各期の特徴と成人期にある人の生活について学修する。		鈴木 珠水
2	【講義】 成人保健の動向と各病期の特徴 成人各期における生活の特徴及び成人保健、各病期（急性期・回復期・慢性期・終末期）の特徴をとらえた看護支援について学修する。		鈴木 珠水
3	【講義・演習】 成人への看護アプローチ 1 成人の生きる力を支える看護支援を学修する（①ニード論／②コンコーダンス）。		佐藤 佳子 鈴木 珠水
4	【講義・演習】 成人への看護アプローチ 2 成人慢性期にある自己管理が必要な患者・家族への看護支援を学修する（③症状マネジメントモデル／④役割理論）。		佐藤 佳子 鈴木 珠水
5	【講義・演習】 成人への看護アプローチ 3 局面（フェイズ）に焦点化した理論を用いて、病的状態にある患者・家族への看護支援を学修する（⑤移行理論／⑥病みの軌跡）。		戸沢 智也 鈴木 珠水
6	【講義・演習】 成人への看護アプローチ 4 成人の健康問題に対してキューとケアを導入するときの意思決定時に生じる不安や葛藤、それらを継続する際に生じる困難について学修する（⑦保健行動理論／⑧セルフケア理論）。		須坂 洋子 鈴木 珠水
7	【講義・演習】 成人への看護アプローチ 5 成人の学修を支援するための基本的方法を学び、成人の自己知覚に対して理解を深め、看護支援について学修する（⑨自己概念／⑩自尊感情）。		鈴木 珠水 須坂 洋子
8	【講義】 まとめ／成人期にある人及びその家族の生活、生活環境と支援 成人期にある人が、その人らしい生活が営めるように支援していく看護師の役割について理解を深める。成人の健康状況及び病いの発生が生活に及ぼす影響、健康をおびやかす要因を理解し、それに対する看護支援を学修する。		鈴木 珠水
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験50%、講義時間内で実施する小テスト8回で40%（1回5%）、レポート10%で評価する。 小テストは、授業を欠席した場合は加点とならない→テストに参加することはできる。			
〔教科書〕 ナーシング・グラフィカシリーズ 成人看護学概論, メディカ出版。 ナーシング・グラフィカシリーズ 成人看護学③セルフマネジメント, メディカ出版。 黒田裕子:看護診断のためのよくわかる中範囲理論, Gakken. 系統看護学講座 専門Ⅰ成人看護学総論(成人看護学①), 医学書院。			

〔参考書・参考資料〕

ナーシング・グラフィカシリーズ，成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得，メディカ出版
系統別看護学講座シリーズ，成人看護学総論，医学書院
系統別看護学講座シリーズ，臨床看護学総論，医学書院
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎：生活習慣病を中心に，松本千明，医歯薬出版
看護実践に活かす中範囲理論（第2版），野川道子，メヂカルフレンド社
看護診断ハンドブック 第11版，黒江 ゆり子，医学書院
慢性疾患の病みの軌跡，ピエール・ウグ，医学書院
健康の謎を解く，アーロン・アントノフスキー，有心堂
格差時代の医療と社会的処方-病院の入り口に立てない人々を支えるSDH（健康の社会的決定要因）の視点，武田裕子，日本看護協会出版会
その他、適宜紹介する。

授業科目 (英名)	感染看護学 (Infection Control Nursing)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○齋藤 道子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：選択 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）		
〔授業の概要〕 看護における感染制御の意義を理解し、感染症に関する知識と感染防止対策、看護の果たす役割と具体的な活動内容について学修する。また、現代社会における感染症の動向・特徴を理解し、感染症患者の看護における倫理的側面について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP4. プロフェッショナリズムを身につけ、倫理的行動をとることができる」力を養うために、感染症に関する知識と感染防止対策、看護の果たす役割と具体的な活動内容について学修する。			
〔到達目標〕 1. 医療関連感染予防・管理システムの概要を理解でき、感染予防における看護の役割りを説明できる。 2. 感染症法、学校保健安全法、予防接種法等の関係法規について、その内容を説明できる。 3. 医療関連感染で問題となる微生物と感染経路について理解し、標準予防策および経路別予防策を説明できる。 4. 職業感染の原因となる微生物の特徴を理解し、基本的な職業感染予防策を説明できる。 5. 感染症に罹患した人々に対する差別や偏見に関する歴史を知り、感染症を患う患者と家族のおかれている状況について主体的に考えることができる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】感染管理の現状 ・感染症の動向 ・感染予防管理システムの概要		齋藤 道子
2	【講義】関係法規 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・学校保健安全法 ・予防接種法		
3	【講義】標準予防策 ・医療関連感染で問題となる微生物と感染経路 ・標準予防策の理論的根拠 ・標準予防策の実際		
4	【講義】感染経路別予防策 ・感染経路別予防策の理論的根拠 ・接触予防策の実際 ・飛沫予防策の実際 ・空気予防策の実際		
5	【講義】侵襲的処置に関連した感染予防策（1） ・血管内カテーテル関連血流感染予防策 ・人工呼吸器関連肺炎予防策		
6	【講義】侵襲的処置に関連した感染予防策（2） ・手術部位感染予防策 ・尿路カテーテル関連感染予防策		
7	【講義】職業関連感染予防 ・血液媒介病原体（HBV、HCV、HIV） ・結核 ・小児関連ウイルス（麻疹、風疹、水痘、ムンプス）		
8	【講義】感染予防対策と看護における倫理的課題 ・感染症に罹患したことによる患者への身体・心理・社会的影響 ・感染看護における看護の役割り		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 筆記試験(60%)、レポート(10%)、授業参加度(30%)			
〔教科書〕 岡田忍他:微生物・感染看護学 第2版 - 微生物から感染防止を考える, 医歯薬出版.			
〔参考書・参考資料〕 大曲貴夫, 操華子:感染管理・感染症看護テキスト, 照林社.			

授業科目 (英名)	小児看護学 (Child Health Nursing)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○小西 美樹 玉村 尚子 越雲 美奈子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	オムニバス		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	学校保健		
〔授業の概要〕 新生児・乳児・幼児・学童・思春期にある子どもの成長発達の特徴を理解し、「子ども」という存在への理解を深める。また、子どもを取り巻く現代社会の状況を知り、子どもと家族の健康を保持・増進するための看護の役割を学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、子どもの成長発達の特徴と子どもと家族の健康を保持・増進するための看護の役割について学修する。			
〔到達目標〕 1. 子どもの各発達段階における特徴を説明する。 2. 子どもの成長・発達を日常生活や環境と関連づけ、説明する。 3. 子どもの権利を尊重した日常生活援助を説明する。 4. 子どもの発達段階と健康上の課題および必要な看護について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義・演習】小児期にある対象の理解、成長発達の原則と影響因子、子どもの特徴を理解するための諸理論		小西 美樹
2	【講義・演習】子どもを取り巻く現代社会の環境、子どもの権利擁護、小児看護の特徴と専門性		小西 美樹
3	【講義・演習】新生児・乳児期の発達の特徴及び健康課題と看護 ・身体機能 ・運動機能 ・認知機能 ・情緒・精神機能 ・日常生活習慣の確立 ・よく見られる健康課題		小西 美樹
4	【講義・演習】幼児期の発達の特徴及び健康課題と看護 ・身体機能 ・運動機能 ・認知機能 ・情緒・精神機能 ・日常生活習慣の確立 ・よく見られる健康課題		小西 美樹
5	【講義・演習】学童期の発達の特徴及び健康課題と看護 ・身体機能 ・運動機能 ・認知機能 ・情緒・精神機能 ・日常生活習慣の確立 ・よく見られる健康課題		玉村 尚子
6	【講義・演習】思春期・青年期の発達の特徴及び健康課題と看護 ・身体機能 ・運動機能 ・認知機能 ・情緒・精神機能 ・日常生活習慣の確立 ・よく見られる健康課題		越雲 美奈子
7	【講義・演習】子育て支援における小児看護の役割 ・子どもと家族の健康を支えるための法と制度 ・子どもの発達と事故防止 ・子ども虐待防止		小西 美樹
8	【講義・演習】健康・病気・死に対する子どもの理解		小西 美樹
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験40%、リフレクション30%、グループワークへの参加と貢献30%とする。			
〔教科書〕 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院. 系統看護学講座 小児臨床看護各論, 医学書院.			
〔参考書・参考資料〕 鴨下重彦監修: こどもの病気の地図帳, 講談社. 木口チヨ, 小林八代枝編: イラスト小児の生活援助, 文光堂. その他、講義内で適宜提示する。			

授業科目 (英名)	学校保健と産業保健 (School and Occupational Health Nursing)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○桐生 育恵 渡邊 晶子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	オムニバス		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	学校保健		
〔授業の概要〕 学校保健活動を理解するために、学校保健の理念と学校の環境調整、児童生徒の健康管理活動や健康問題の動向と対策について学修する。また、企業で働く労働者の健康の保持増進活動の実際と、それを支える労働安全衛生のシステムについて理解し、職域における産業保健、産業看護の役割及び機能を学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、学校保健および産業保健の理念と健康管理活動、看護職者の役割について学修する。			
〔到達目標〕 1. 学校保健活動とその法的根拠について説明する。 2. 学校保健の対象者の健康課題と対策について説明する。 3. 学校保健の対象者への健康管理活動について説明する。 4. 学校保健に携わる養護教諭をはじめとした専門職の役割と連携について説明する。 5. 産業保健活動とその法的根拠について説明する。 6. 産業従事者の健康課題と対応について説明する。 7. 産業従事者等の健康の保持増進活動について説明する。 8. 産業保健に携わる看護職をはじめとした専門職の役割と連携について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】産業保健の概要 ・産業保健の歴史と主な根拠法令 ・労働安全衛生の行政体系 ・産業保健における関係機関・社会資源		桐生 育恵
2	【講義】産業保健における健康課題への対策と支援① ・職場の安全衛生管理体制と専門スタッフの役割 ・労働衛生の5管理（作業環境管理・作業管理・健康管理・労働衛生教育・総括管理）		
3	【講義】産業保健における健康課題への対策と支援② ・業務上疾病、職業性疾患、作業関連疾患		
4	【講義】産業保健における健康課題への対策と支援③ ・労働者の健康の動向と対策 ・健康支援の必要な労働者への支援		
5	【講義】産業保健における健康課題への対策と支援④ ・地域保健との連携 ・産業保健活動の展開		
6	【講義】学校保健の理念と概要 ・学校保健の意義・目的 ・学校保健の歴史 ・学校保健に係る教職員		渡邊 晶子
7	【講義】学校保健の制度とシステム ・学校保健行政と関係法規 ・学校保健計画と保健教育、保健管理 ・学校安全計画と安全教育、安全管理 ・学校環境衛生		
8	【講義】学校保健における健康課題への対策① ・児童・生徒の発育・健康状況 ・発達段階別の特徴と対策		
9	【講義】学校保健における健康課題への対策② ・メンタルヘルス（不登校・いじめ） ・飲酒・喫煙、薬物乱用 ・性教育 ・生活習慣病予防 ・食育		

10	【講義】学校保健における健康課題への対策③ ・特別な支援を要する児童生徒への対応（医療的ケア時、発達障害、慢性疾患、アレルギー等）	渡邊 晶子
11	【講義】学校保健活動の展開① ・養護教諭の職務・役割 ・保健室の機能	
12	【講義】学校保健活動の展開② ・健康診断 ・健康相談と保健指導	
13	【講義】学校保健活動の展開② ・学校における感染症予防と対策	
14	【講義】学校保健活動の展開③ ・学校保健組織活動（学校保健委員会、児童生徒保健委員会等） ・地域の関係機関との連携・協働	
15	【講義】学校保健活動の実際 ・養護教諭に求められること ・健康相談の実際 ・今日の状況における危機管理 ・多職種・地域保健との連携	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 定期試験(70%)、課題・リフレクション(30%)で評価する。		
〔教科書〕 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院.		
〔参考書・参考資料〕 保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論, メヂカルフレンド社. 医療情報科学研究所編: 公衆衛生が見える, メディックメディア. 国民衛生の動向, 厚生統計協会.		

授業科目 (英名)	養護概説 (Introduction to School Nursing)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○櫻田 淳	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：選択 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	養護概説		
〔授業の概要〕 養護教諭職制の歴史・養成制度や養護教諭の職務の根拠となる法律・制度、子供や取り巻く環境の健康課題の変化から、教育における学校保健の意義、養護の概念と養護教諭に必要な基礎的価値観、養護教諭の専門性と機能、養護活動と保健室の特性について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、養護教諭の役割と機能、職責、専門性を理解し、児童生徒・教職員の保持増進のために組織的に連携して活動するための基礎的知識を修得する。			
〔到達目標〕 1. 学校保健の歴史と養護教諭の歴史的変遷について理解する。 2. 養護教諭の責務・役割と専門性について理解する。 3. 養護教諭としての教育と支援に関する知識と技術について理解する。 4. 学校保健に関わる関係機関・関係職種・地域・他の教員との連携の意義と必要性について理解する。 5. 国際的な視点からの日本の学校保健と養護教諭の役割について理解する。 6. 養護教諭としての自己研鑽の意義と必要性について理解する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】日本の学校保健、養護教諭制度の歴史的変遷		櫻田 淳
2	【講義】養護教諭の職責と専門性－保健管理、保健教育、組織活動		
3	【講義】「チーム学校」における養護教諭の役割		
4	【講義】学校経営と学校保健・学校安全		
5	【講義】保健室経営の概念と機能		
6	【講義】児童及び生徒の健康状態・健康課題の把握－個人に対する学校保健活動および養護実践		
7	【講義】学年・学級の健康状態・健康課題の把握－集団に対する学校保健活動および養護実践		
8	【講義】学校における緊急救急体制と対応		
9	【講義】学校における危機管理と危機管理体制		
10	【講義】学校保健計画と保健教育		
11	【講義】養護教諭が行う保健教育（保健学習・保健指導）		
12	【講義】養護教諭が行う健康相談		
13	【講義】特別支援学校における学校保健活動・養護教諭の役割		
14	【講義】国際学校保健		
15	【講義】養護教諭としての役割遂行と自己研鑽		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験：60％ 授業への参加度(リフレクションの内容、ディスカッションへの参加度)：30％ 課題レポート：10％			

〔教科書〕

学校保健・安全実務研究会編著(2022):学校保健実務必携 第5次改訂版, 第一法規.

〔参考書・参考資料〕

荒木田美香子他(2023):公衆衛生看護学テキスト第4巻 公衆衛生看護活動Ⅱ 2023年版(学校保健・産業保健), 医歯薬出版.

文部科学省(2017):学校学習指導要領解説, 体育編, 東洋館出版社.

文部科学省(2017):中学校学習指導要領解説, 保健体育編, 東山書房.

文部科学省(2018):高等学校学習指導要領解説, 保健体育編, 東山書房.

授業科目 (英名)	小児看護方法論 (Methodologies of Child Health Nursing)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○玉村 尚子 小西 美樹 越雲 美奈子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	オムニバス・一部複数		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法		
〔授業の概要〕 健康障害が子どもと家族に与える様々な影響を理解した上で、病期や障害の程度といった健康レベル及び新生児期から思春期にある子どもとその家族の発達段階を踏まえた看護援助の方法について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、健康レベル及び子どもとその家族の発達段階を踏まえた看護援助方法について学修する。			
〔到達目標〕 1. 子どもの健康レベルや発達段階における特徴を理解し、様々な状況下の健康障害を有する子どもと家族への看護を説明できる。 2. 健康障害を有する子どもの成長・発達を促進するための看護を説明できる。 3. 健康障害を有する子どもの家族の危機に対する看護を説明できる。 4. 事例をもとに看護過程を展開し、子どもと家族に適した看護ケアとその根拠を説明できる。 5. 事例をもとに、子どもの看護に必要な看護技術、家族との面談や相談の技法を学内演習で実践できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義・演習】ガイダンス、子どもの健康に関する包括的なアセスメント		玉村 尚子
2	【講義・演習】検査・処置を受ける子どもの看護① 医療を受ける子どもの権利、小児特有の診療（検査、処置）に伴う技術と看護		
3	【講義・演習】検査・処置を受ける子どもの看護② 小児に対する救急救命処置、トリアージ、小児医療における医療安全		
4	【講義・演習】急性症状のある子ども・家族の看護 （感染性疾患の子ども・家族への看護支援）		
5	【講義・演習】周手術期における子ども・家族の看護 （鎖肛の子ども・家族への看護支援）		
6	【講義・演習】慢性的な疾患がある子ども・家族の看護① （アレルギー疾患の子ども・家族への看護支援）		
7	【講義・演習】慢性的な疾患がある子ども・家族の看護② （小児がんの子ども・家族への看護支援）		越雲 美奈子
8	【講義・演習】集中治療が必要な子ども・家族の看護 （NICU入院児の子ども・家族への看護支援）		小西 美樹
9	【講義・演習】医療的ケアが必要な子ども・家族の看護 （重症心身障害児の子ども・家族への看護支援）		
10	【講義・演習】エンド・オブ・ライフにある子ども・家族の看護		
11	【演習】中間テスト、看護過程の展開（事例の提示、アセスメント）		玉村 尚子 小西 美樹 越雲 美奈子
12	【演習】看護過程の展開（アセスメント、看護上の問題）		
13	【演習】看護過程の展開（看護計画・演習計画）		
14	【演習】看護過程の展開、技術演習（プレパレーション、子どもと親への健康相談を含む）		
15	【演習】看護過程の展開と技術演習のまとめ		

定期試験は実施しない
〔成績評価と基準〕 中間テスト30%、看護過程・看護技術の記録30%、演習への参加度20%、リフレクション20%とする。 中間テストは、第11回講義内で実施する。
〔教科書〕 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院. 系統看護学講座 小児臨床看護各論, 医学書院.
〔参考書・参考資料〕 日本外来小児科学会: ママ&パパにつたえたい 子どもの病気ホームケアガイド 第5版, 医歯薬出版. 浅野みどり: 根拠と事故防止からみた小児看護技術 第2版, 医学書院. 原田香奈他: 医療を受ける子どもへの上手なかかわり方 第2版, 日本看護協会出版会. その他、講義内で適宜提示する。

授業科目 (英名)	公衆衛生看護学 (Public Health Nursing)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○桐生 育恵	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法		
〔授業の概要〕 地域を基盤に、すべての人々を対象とした、健康の保持・増進のための看護活動について理解する。国内外における公衆衛生看護活動の歴史的変遷を概観し、ライフステージや健康課題の観点から、地域の健康づくりのための看護活動について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、地域を基盤に、すべての人々を対象とした健康の保持・増進のための看護活動について学修する。			
〔到達目標〕 1. 公衆衛生看護学の定義を説明できる。 2. 個、集団、地域の関係を説明する。 3. ライフステージや健康レベルに応じた、公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】公衆衛生看護学の定義、ウィンスロウの公衆衛生の定義 国内外における公衆衛生看護活動の歴史的変遷、ヘルスプロモーションなどの概念		桐生 育恵
2	【講義】公衆衛生看護の対象としての「個」と「地域」の関係、グループ・組織・地域		桐生 育恵
3	【講義】地域における母子保健活動、保健師の活動範囲や方法①		桐生 育恵
4	【講義】地域における母子保健活動、保健師の活動範囲や方法②		桐生 育恵
5	【講義】地域における成人・高齢者保健活動、保健師の活動範囲や方法		桐生 育恵
6	【講義】地域における精神保健活動、保健師の活動範囲や方法		桐生 育恵
7	【講義】地域における障がい者・難病保健活動、保健師の活動範囲や方法		桐生 育恵
8	【講義】地域における感染症の保健活動、健康危機管理、保健師の活動範囲や方法		桐生 育恵
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験80%、課題20%で評価する。			
〔教科書〕 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論, 医学書院. 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院. 守田孝恵編:PDCAの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動, クオリティケア.			
〔参考書・参考資料〕 金子仁子:行政 保健実践科学シリーズ 行政看護学, 講談社.			

授業科目 (英名)	公衆衛生看護方法論 (Methodologies of Public Health Nursing)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○桐生 育恵	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法		
〔授業の概要〕 家庭や集団・組織を含む地域を基盤に、そこで生活する人々が、自らの健康を意識し、主体的に健康の保持・増進するための公衆衛生看護活動の方法を学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、地域を基盤に生活する人々が、主体的に健康の保持・増進するための公衆衛生看護活動方法について学修する。			
〔到達目標〕 1. 健康相談における公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。 2. 家庭訪問における公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。 3. 健康診査における公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。 4. 健康教育における公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。 5. 住民の主体的な健康づくりについて理解し、組織活動を説明できる。 6. 公衆衛生看護活動のPDCAサイクルに沿って、地域特性に応じた健康教育を企画・実施・評価できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】保健師が行う健康相談 保健師が行う健康相談の目的・特徴、方法		桐生 育恵
2	【講義】保健師が行う家庭訪問 保健師が行う家庭訪問の目的・特徴、方法		桐生 育恵
3	【講義】地域保健活動における健康診査 地区活動としての健康診査の目的、健康診査の企画・実施・評価 法律に基づく健康診査		桐生 育恵
4	【講義】地区組織活動 地区組織活動の育成・支援の定義・対象・目的と過程 活動支援の展開事例と保健師の役割		桐生 育恵
5	【講義】保健師が行う健康教育 保健師が行う健康相談の目的・特徴、方法 健康教育におけるPDCAと健康教育計画書の記載方法（最新の知見）		桐生 育恵
6	【演習】健康課題の明確化 個の事例から地域の特徴を把握し、健康課題を見立てる。		桐生 育恵
7	見立てた健康課題を中心に、必要な保健統計と健康情報を収集し、健康課題を明確にする。		
8	【演習】健康教育計画書の作成 健康課題に対応した健康教育の目的・目標の設定。		桐生 育恵
9	【演習】健康教育計画書を作成 健康教育の概要、プログラムの流れ、実施方法の検討。		桐生 育恵
10	【演習】健康教育計画書の改善 健康教育計画書の作成経過を報告し、話し合いや質疑応答を通して、健康教育計画書を改善する。		桐生 育恵
11	【演習】 健康教育計画書の作成、教材の作成、評価方法の検討		桐生 育恵
12			
13			
14	【演習】 企画した健康教育の実施 全てのグループと学生が各々の役割を遂行して、健康教育を実施・参加・評価する。		桐生 育恵
15			

定期試験を実施する
〔成績評価と基準〕 試験50%、課題30%、参加度20%
〔教科書〕 守田孝恵編：PDCAの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動, クオリティケア. 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院.
〔参考書・参考資料〕 講義中に紹介する。

授業科目 (英名)	臨床栄養学 (Clinical Nutrition)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○齊藤 克枝	保・助・養の受験資格(免許状取得)のための必修・ 選択の別	保健師：必修 助産師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科目 区分又は事項等	栄養学（食品学を含む。）		
〔授業の概要〕 人間の成長発育や生命維持に必要な各種栄養素の種類と代謝について理解する。また、疾患から回復し、健康を維持・増進するための栄養補給法、栄養・食事療法について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、健康を維持・増進するための栄養補給法、栄養・食事療法について学修する。			
〔到達目標〕 1. 栄養学の基礎を習得し、各栄養素と人間の栄養状態を説明する。 2. 栄養素の消化・吸収・代謝の過程を理解し、食べることの重要性を説明する。 3. 栄養ケア・マネジメントの意義を学び、栄養状態の評価・判定の目的と方法について説明する。 4. ライフステージごとの特徴を理解し、望ましい食生活を説明する。 5. 食品学の基礎を学び食品に含まれる栄養素を理解し、健康づくりのための望ましい食生活を説明する。 6. 各疾患の食事療法を理解し、適切な食事のとり方を説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】 栄養学の基礎（栄養素の種類と働き、栄養素の消化・吸収・代謝） 最新の研究・情報に基づき栄養を学ぶための基礎知識 各栄養素の種類と体内における役割と臨床的意義		齊藤 克枝
2	【講義】 栄養管理 科学的根拠に基づいた栄養状態の評価・判定方法 栄養管理の概要と治療の一環として提供される病院食		
3	【講義】 ライフステージと栄養 最新の研究・データに基づく各ライフステージにおける食事摂取基準と望ましい食生活		
4	【講義】 食品学の基礎 最新の情報に基づいた食品群の分類と食品ごとの特徴 バランスの良い食事をとるための食品の組み合わせに		
5	【講義】 疾患別食事療法 栄養・代謝疾患患者の食事療法における最新の診断基準・情報に基づく適切な食事		
6	【講義】 疾患別食事療法 循環器疾患患者、腎臓疾患患者の食事療法における最新の診断基準・情報に基づく適切な食事		
7	【講義】 疾患別食事療法 消化器疾患患者の食事療法における最新の診断基準・情報に基づく適切な食事		
8	【講義】 疾患別食事療法 その他疾患における食事療法における最新の診断基準・情報に基づく適切な食事		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験90%、授業参加度10%			
〔教科書〕 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能[3], 医学書院.			
〔参考書・参考資料〕 ナーシング・グラフィカ⑥臨床栄養学, メディカ出版. その他、適宜紹介する。			

授業科目 (英名)	生化学 (Biochemistry)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○杉本 博之	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	栄養学（食品学を含む。）		
〔授業の概要〕 人体を理解する基礎として、生体の最小基本単位である細胞の役割とたんぱく質や糖の代謝、ホルモンや酵素の働き、体液と電解質、血液、免疫の働きなど、生体内部の働きを系統的に学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、人体内部の働きを系統的に学修する。			
〔到達目標〕 1. 生体が入り入れた糖、脂質、アミノ酸からどのようにエネルギー(ATP)を獲得するのか理解し説明する。 2. 生体の構成や代謝にかかわる糖、脂質、アミノ酸、核酸が何からどのように生合成されるのか理解し説明する。 3. 糖、脂質、アミノ酸、核酸の代謝がお互いどのようなつながりを持っているのか理解し説明する。 4. 生体全体からみて、エネルギーをどのように貯蔵するのか、貯蔵したエネルギーをどのように利用するのか、その仕組みやホルモンによる調節を理解し説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】糖と糖質の代謝Ⅰ 生化学の基本事項および糖の分類の理解と把握 1) 生体分子にみられる官能基と結合様式 2) 酸化還元反応を行う補酵素、ATP、アセチルCoAの構造 3) 酵素の分類と性質 4) 糖の基本構造 5) 糖の分類(単糖、二糖、多糖) 6) デンプンの分解と吸収 講義全般に必要な場合には最新の生化学的な知見も加える。		杉本 博之
2	【講義】糖と糖質の代謝Ⅱ 糖代謝の理解と把握 1) 解糖とその調節機構 2) ピルビン酸デヒドロゲナーゼ 3) クエン酸回路 4) グリコーゲンの合成と分解およびその調節機構 5) 糖新生とその調節機構 6) 臓器間におけるエネルギー代謝の統合と制御		
3	【講義】脂質とその代謝(1) 脂質の種類と役割の把握 1) 脂質の定義 2) 脂肪酸、中性脂肪、コレステロール、リン脂質、糖脂質、エイコサノイド等、脂質の構造と役割		
4	【講義】脂質とその代謝(2) 脂質代謝の理解と把握 1) 中性脂肪からどのようにエネルギーATPを獲得するか 2) ケトン体 3) 脂肪酸の生合成 4) コレステロールの生合成 5) エイコサノイドの生合成 6) リポタンパク質		
5	【講義】アミノ酸の代謝とタンパク質 (1) アミノ酸およびタンパク質の構造と性質の理解と把握 1) タンパク質とは何か 2) アミノ酸の構造と分類 3) タンパク質の構造と性質 4) タンパク質の種類と分類		

6	【講義】アミノ酸の代謝とタンパク質（2） アミノ酸およびタンパク質の代謝の理解と把握 1) タンパク質・アミノ酸の役割と概要 2) タンパク質の消化と吸収 3) アミノ酸の代謝と尿素回路 4) 炭素骨格の代謝 5) アミノ酸からの含窒素化合物の生成	杉本 博之
7	【講義】核酸と遺伝情報 核酸・ヌクレオチドの代謝および遺伝情報の理解と把握 1) ヌクレオチド 2) DNA とRNA の構造 3) 核酸・ヌクレオチドの代謝 4) DNA: 遺伝情報を担う物質 5) 複製、転写、翻訳 6) 遺伝子の変化	
8	【講義】ポルフィリン代謝と胆汁(胆汁酸とビリルビン) ポルフィリン代謝と胆汁の理解と把握 1) ヘモグロビン 2) ヘムの生合成 3) ヘムの分解とビリルビンの代謝 4) 胆汁酸の生成と役割	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 授業参加度10%、定期試験の成績90%により評価する。 毎回の講義で小テストを行い提出させ採点する。期末試験の成績に加味する。		
〔教科書〕 臨床生化学 人体の構造と機能② ナーシング・グラフィカ, メディカ出版.		
〔参考書・参考資料〕 特になし		

授業科目 (英名)	人体の構造Ⅰ (Human AnatomyⅠ)	単位数	2単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○徳田 信子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保健師：必修 助産師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	解剖学・生理学		
〔授業の概要〕 人体の構造についての基本的な知識及び各器官系統の具体的な構造を学修する。ここでは、“生命活動を維持・コントロールする仕組み”として内臓器系の構造を、“特殊感覚と皮膚感覚をコントロールする仕組み”として感覚器系の構造を理解する。			
〔授業の目的〕 「DP2.科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、人体の内臓器系、感覚器系の構造について学修する。			
〔到達目標〕 1.体部表面にて胸部臓器・腹部臓器の位置関係を説明する。 2.呼吸器系を理解することで、呼気と吸気のしくみを説明する。 3.循環器系を理解することで、心臓や血管のしくみを説明する。 4.消化器系を理解することで、消化と吸収機構を説明する。 5.生殖器系を理解することで、役割や機能を説明する。 6.感覚器を理解することで、特殊感覚(視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚)や皮膚感覚のしくみを説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】解剖学総論： ①解剖学を理解し、どのような基礎学問であるかを学ぶ。 ②人体の階層性を理解し、人体の構成を学ぶ。 ③系統解剖学を理解し、機能的な区分を学ぶ。 ④体部位および体腔を理解し、内臓などの器官の位置を学ぶ。 ●講義終了後に構造の基本名称および本日の重要なPointについて確認試験を行う。試験終了後に質問等を受け付けます。		徳田 信子
2	【講義】呼吸器系1： 鼻腔、咽頭、喉頭の構造と、それらの呼吸に果たす役割を解説する。		
3	【講義】呼吸器系2： 気管、気管支、肺と肺胞の構造と、それらがどのように呼吸を可能としているかを解説する。		
4	【講義】循環器系1： ①循環器系による生体の恒常性維持機構の概要を理解する。 ②心臓の位置を理解し、胸骨圧迫・聴診・触診時での基礎知識を学ぶ。 ③縦隔区分における心臓の位置を理解し、画像診断としての基礎知識を学ぶ。 ④心臓の構造を理解し、心疾患を学ぶ。 ●講義終了後に構造の基本名称および本日の重要なPointについて確認試験を行う。試験終了後に質問等を受け付けます。		
5	【講義】循環器系2： ①心臓の発生を理解し、先天性心疾患を学ぶ。 ②冠状動脈における終動脈の概念を理解し、心筋梗塞を学ぶ。 ③心筋を理解し、刺激伝導系を学ぶ。 ④血管の構造を理解し、その役割を学ぶ。 ●講義終了後に構造の基本名称および本日の重要なPointについて確認試験を行う。試験終了後に質問等を受け付けます。		
6	【講義】循環器系3： ①心臓からの主要動脈の経路を理解し、その特徴を学ぶ。 ②心臓への主要静脈の経路を理解し、その特徴を学ぶ。 ③門脈の定義と存在意義を学ぶ。 ④胎児循環を理解し、成人との血流方向の違いを学ぶ。 ●講義終了後に構造の基本名称および本日の重要なPointについて確認試験を行う。試験終了後に質問等を受け付けます。		

7	【講義】循環器系4： ①リンパ系の構成を理解し、循環器系としての役割を学ぶ。 ②リンパ液の成分を理解し、乳白色であることを学ぶ。 ③リンパ系における最新の生体防御機構を学ぶ。 ④リンパ流の法則性を学ぶ。 ●講義終了後に構造の基本名称および本日の重要なPointについて確認試験を行う。試験終了後に質問等を受け付けます。	徳田 信子
8	【講義】消化器系1： ①消化器系総論 ②消化管各論 口腔、唾液腺 ③消化管各論 咽頭、食道	
9	【講義】消化器系2： ①消化管各論 胃 ②消化管各論 小腸 ③消化管各論 大腸	
10	【講義】消化器系3： ①消化管付属器各論 胆嚢 ②消化管付属器各論 膵臓 ③消化管付属器各論 肝臓	
11	【講義】泌尿器系： 腎臓の位置と内部構造、腎小体と尿細管の構造、尿路(尿管、膀胱、尿道)の構成を説明し、それらがどのように水分と老廃物を排出し人体の恒常性を維持するかを解説する。	
12	【講義】内分泌系： 内分泌器官（下垂体、甲状腺、膵島、副腎）の構造を説明し、それらがどのようにホルモンを分泌し、ホルモンを通じて人体機能を調節しているかを解説する。	
13	【講義】生殖器系：男性生殖器（精巣、前立腺、陰茎）および女性生殖器（卵巣、子宮、膣）の構造を説明し、それらがどのように生殖を可能にするのかを解説する。	
14	【講義】感覚器系1：触覚器・視覚器 ①皮膚の感覚受容器 ②眼球の構造 ③眼球付属器の構造 ④視覚伝導路 ●いくつかの項目を説明するごとに配布資料の空欄を埋める。	
15	【講義】感覚器系2：聴覚器・味覚器・嗅覚器 ①耳の構造 ②味覚器の構造 ③嗅覚器の構造 ●いくつかの項目を説明するごとに配布資料の空欄を埋める。	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 定期試験（90％）と授業参加度（10％）により評価する。 授業参加度は、予習課題の提出やリフレクションの記述内容等を用いて評価する。 再試験の評価は、試験点数のみにて判定を行う。		
〔教科書〕 坂井建雄, 岡田隆夫:解剖生理学 人体の構造と機能1, 医学書院。 ＊教科書は解剖生理学であるが、本講義では「人体の構造」を中心的に行う。		
〔参考書・参考資料〕 坂井建雄, 橋本尚詞:ぜんぶわかる人体解剖図, 成美堂出版。 日本生理学会教育委員会:看護師国家試験 解剖生理学クリアブック, 医学書院。		

授業科目 (英名)	人体の構造Ⅱ (Human AnatomyⅡ)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○中舘 和彦	保・助・養の受験資格(免許状取得)のための必修・ 選択の別	保健師：必修 助産師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科目 区分又は事項等	解剖学・生理学		
〔授業の概要〕 人体の構造についての基本的な知識及び各器官系統の具体的な構造を学修する。ここでは、“体を支え・動く・コントロールする仕組み”として骨や筋肉及び神経系の構造を理解する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、人体の骨、筋、神経系の構造について理解する。			
〔到達目標〕 1. 骨系と筋系を理解することで、身体にて基本的な姿勢および体幹・四肢の運動を説明する。 2. 神経系(中枢神経系と末梢神経系)を理解することで、神経系の役割を説明する。 3. 支配神経と主要筋群との関連を理解し、運動を説明する。これにより神経麻痺における運動障害も説明する。 4. これらの講義範囲について、他科目との関連や最新の知見との関連を説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】 骨格系1: 体幹に存在する骨格と四肢骨(上肢骨)について理解し、体幹と上肢の運動との関連や内臓保護機能を理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		中舘 和彦
2	【講義】 骨格系2: 四肢骨(下肢骨)と頭蓋骨の構造を理解し、下肢の運動と脳や顔との関連の関連を理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
3	【講義】 筋系1: 体幹の筋、上肢の筋の構造を理解し、運動との関連を理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
4	【講義】 筋系2: 下肢の筋、頭部・頸部の筋の構造を理解し、運動との関連を理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
5	【講義】 中枢神経系1: 中枢神経系の分類、中枢神経系の発生、脳の分類と機能を理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
6	【講義】 中枢神経系3: 感覚/運動伝導路について理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
7	【講義】 末梢神経系1: 脳神経について理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
8	【講義】 末梢神経系2: 脊髄神経系と自律神経系について理解する。 ○講義終了後に課題学習として、解剖生理学ワークブックの指定箇所を行う、またiPadを用いた確認テストを行う。		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験90%、参加状況10%により判断する。 授業への参加状況の評価基準は、ディスカッションでの発言やリフレクションの記述内容等を用いて評価する。 再試験での評価は、試験点数のみにて判定を行う。			
〔教科書〕 坂井建雄, 岡田隆夫:解剖生理学 人体の構造と機能1, 医学書院。 日本生理学会教育委員会:看護師国家試験 解剖生理学クリアブック, 医学書院。 坂井建雄, 岡田隆夫:解剖生理学ワークブック, 医学書院。			
〔参考書・参考資料〕 坂井建雄, 橋本尚詞:ぜんぶわかる人体解剖図, 成美堂出版。			

授業科目 (英名)	人体の機能Ⅱ (Human PhysiologyⅡ)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○神作 憲司	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	解剖学・生理学		
〔授業の概要〕 生体の正常機能と調節について基本的な知識を学修する。ここでは、骨、筋肉、神経、感覚について、ヒトの体が正常時にどのように働くか、人体の構造と関連付けて総合的に理解する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、骨、筋肉、神経、感覚の機能について学修する。			
〔到達目標〕 1. 神経：神経系による情報伝達と運動発現、内臓機能の調節の機序を説明する。 2. 高次脳機能：大脳半球における記憶・学習等の仕組みについて理解し、説明する。 3. 筋肉：骨格筋と心筋、平滑筋の収縮機構を理解し、興奮収縮連関と滑走説を説明する。 4. 感覚：感覚の受容とその分析の仕組みを理解し、感覚受容と感覚情報処理の機序を説明する。 5. 生体リズム：生体各臓器の機能が約一日のリズムで調節されていることを理解し、体内の生物時計について概説する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】神経1 神経細胞の興奮、興奮伝導、シナプス伝達 神経系疾患に関する最新の知見		神作 憲司
2	【講義】神経2 末梢神経系(体性神経系と自律神経系)の機能		
3	【講義】神経3 中枢神経系(脊髄、脳幹、間脳、小脳、大脳基底核、大脳辺縁系)の機能		
4	【講義】高次脳機能 中枢神経系(大脳皮質)の機能		
5	【講義】筋肉 骨格筋と心筋、平滑筋の収縮機構		
6	【講義】感覚1 感覚総論、視覚		
7	【講義】感覚2 聴覚、味覚、嗅覚、平衡感覚、体性感覚		
8	【講義】生体リズム 神経系・内分泌系の概日リズム		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験(90%)及び、授業への参加状況(リフレクションの内容、課題学習である小テストの点数)(10%)			
〔教科書〕 坂井建雄, 岡田隆: 解剖生理学 人体の構造と機能1, 医学書院.			
〔参考書・参考資料〕 増田敦子: 解剖生理をおもしろく学ぶ, サイオ出版. 野溝明子: 看護の現場ですぐに役立つ 解剖生理学のキホン(ナースのためのスキルアップノート), 秀和システム.			

授業科目 (英名)	人体の機能Ⅰ (Human PhysiologyⅠ)	単位数	2単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○神作 憲司	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保健師：必修 助産師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	「微生物学、免疫学、薬理概論」		
〔授業の概要〕 生体の正常機能と調節に関する基本的な知識を学修する。ここでは、血液、免疫、循環、呼吸、消化、尿、内分泌、生殖について、ヒトの体が正常時にどのように働くか、人体の構造と関連付けて総合的に理解する。			
〔授業の目的〕 「DP2.科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、人体の血液、免疫、循環、呼吸、消化、尿、内分泌、生殖の機能について学修する。			
〔到達目標〕 1.生命とは：外部環境に対する細胞の応答について理解し、生体の恒常性について説明する。 2.血液：酸素や炭酸ガスの運搬、血液凝固と線溶、血液型、血液浸透圧の維持、生体防御等の血液のもつ機能と血液成分の生成について理解し、説明する。 3.循環：生体ポンプとしての心臓と血管系の働き、心電図及び血圧を一定に維持する仕組みについて理解し、心臓の電気現象、毛細血管における物質交換や血圧・血流調節の機序を説明する。 4.呼吸：組織における細胞呼吸のために必要な酸素を取り込み、組織で生じた炭酸ガスを排出する仕組みについて理解し、呼吸運動とその調節と肺胞におけるガス交換の機序について説明する。 5.消化・吸収：生命維持のため、食物に含まれる栄養素を体内に取り込む仕組みについて理解し、各消化管における運動と消化液の分泌とその調節及び栄養素の吸収の機序を説明する。 6.尿生成：腎臓で水や電解質の排泄が調節されることにより、体液の量、浸透圧、pHが安定に保たれる仕組みについて理解し、腎臓における尿生成とその調節と排尿の機序及び腎臓が体液の恒常性を維持する機序について説明する。 7.内分泌：内分泌系が各臓器の機能を協調させる仕組みについて理解し、ホルモンの作用機序と分泌調節機序を説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】生命とは 細胞と細胞を取り巻く環境との応答、細胞内外の接点(イオンチャネルとポンプ、細胞内伝達系)		神作 憲司
2	【講義】血液1 血液の成分と機能、赤血球、白血球の生成と破壊		
3	【講義】血液2 血液凝固と線溶、血液型、免疫（生体の防御機構）		
4	【講義】循環1 生体ポンプとしての心臓 循環器系疾患に関する最新の知見		
5	【講義】循環2 心電図		
6	【講義】循環3 血行力学と血圧の調整		
7	【講義】呼吸1 肺機能の測定、ガス交換とガスの運搬 呼吸器系疾患に関する最新の知見		
8	【講義】呼吸2 呼吸の調節		
9	【講義】消化吸収1 消化器系の運動と消化液分泌		
10	【講義】消化吸収2 栄養素の消化と吸収、排便反射		

11	【講義】尿の生成と排泄1 糸球体における濾過、尿細管での再吸収と分泌	神作 憲司
12	【講義】尿の生成と排泄2 浸透圧と細胞外液量の調節、体液pH の調節、排尿反射	
13	【講義】内分泌・代謝1 視床下部、下垂体、甲状腺のホルモン、血漿カルシウムの調節に働くホルモンと骨代謝	
14	【講義】内分泌・代謝2 副腎皮質、副腎髄質のホルモン、体温調節や糖代謝に働くホルモン	
15	【講義】性と生殖1 性ホルモンの分泌とその作用、配偶子形成と受精、卵巣周期と月経周期	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 定期試験(90%)及び、授業への参加状況(リフレクションの内容、課題学習である小テストの点数)(10%)		
〔教科書〕 坂井建雄, 岡田隆夫:解剖生理学 人体の構造と機能1, 医学書院.		
〔参考書・参考資料〕 増田敦子:解剖生理をおもしろく学ぶ, サイオ出版. 野溝明子:看護の現場ですぐに役立つ 解剖生理学のキホン(ナースのためのスキルアップノート), 秀和システム.		

授業科目 (英名)	微生物学 (Basic Medical Microbiology)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○藤澤 隆一	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	「微生物学、免疫学、薬理概論」		
〔授業の概要〕 ヒトの疾病の原因となる細菌、ウイルス、真菌、寄生虫といった種々の微生物を対象として、これらの基本的性状、病原性機構、それによって生ずる病態、宿主の防御機構及び感染対策について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、感染症の原因となる病原微生物とこれらに対する宿主の防御機構を総合的に理解する。			
〔到達目標〕 1. ヒトの疾病の原因となる細菌、真菌、ウイルス及び原虫・寄生虫の構造や基本的性状を概説する。 2. 病原微生物の感染経路と感染様式を概説する。 3. 微生物の感染に対する人体の生体反応や防御機構、免疫応答について概説する。 4. 感染症の診断、治療及び予防の基本を概説する。 5. 院内感染や日和見感染症の基本的事項について概説する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】 微生物学序論		藤澤 隆一
2	【講義】 細菌学総論、真菌学総論		
3	【講義】 ウイルス学総論、原虫学総論		
4	【講義】 感染と感染症総論		
5	【講義】 感染と免疫Ⅰ		
6	【講義】 感染と免疫Ⅱ		
7	【講義】 感染症の診断と治療の基礎		
8	【講義】 感染症の予防・感染制御の基礎		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験：90％、授業参加度およびLMS の「講義確認ドリル」での自主学習実施状況：10％により評価する。			
〔教科書〕 特に指定しない。講義プリントで対応する。			
〔参考書・参考資料〕 〔書籍〕 戸田新細菌学 改訂34 版, 南山堂. ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち(3)臨床微生物・医動物 第3版, メディカ出版. Medical Microbiology, 9th Edition, Murray, P.R. et al., Elsevier Health Sciences 〔WWW〕 国立感染症研究所(感染症、微生物に関する情報全般) http://www.nih.go.jp/niid/ja/index.html FORTH:厚生労働省検疫所 HP(海外の感染症に関する最新の流行状況や予防方法などの情報を掲載)			

授業科目 (英名)	薬理学 (Pharmacology)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○内田 幸介	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	「微生物学、免疫学、薬理概論」		
〔授業の概要〕 薬物の生体での作用機序、作用点について、および薬物の体内動態(薬の吸収、分布、代謝、排泄)についての基本的な知識について学修する。 さらに、多くの器官や臓器に亘る病態に対する治療薬の基本的な作用機構について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、生体内での薬物の作用機構や体内動態についての基本的知識を学び、各病態における治療薬の臨床効果、副作用、禁忌、薬物相互作用について理解する。			
〔到達目標〕 1. 薬物療法の理論的背景の基本事項について説明する。 2. 体内動態に基づいた薬効発現および薬物相互作用を理解し、説明する。 3. 様々な器官・臓器に亘る病態に対する治療薬の作用機序、適応疾患、有害作用、禁忌などについて説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】薬理学総論 薬理学とは何か 薬物療法における看護師の役割 薬物の作用機序の基本 薬物の用量反応曲線		内田 幸介
2	【講義】薬理学総論 薬物の体内動態 薬効に影響する因子 薬物相互作用		
3	【講義】薬理学総論 薬物依存の基本 薬物中毒の概説 医薬品の分類		
4	【講義】自律神経作用薬 生理的な循環器・消化器・呼吸器などの機能と関わりが深い自律神経作用薬の作用機構		
5	【講義】中枢神経作用薬 痛覚伝導路、下行性抑制機構 麻薬性鎮痛薬の作用機序、有害作用		
6	【講義】抗炎症・解熱鎮痛薬 炎症発現の基本的メカニズム ステロイド抗炎症薬及び非ステロイド性抗炎症薬（NSAID）の作用機序、有害作用、使用上の注意点		
7	【講義】感染症治療薬 抗感染症薬（抗菌薬）の種類、各々の特徴（作用機序・抗菌スペクトル・適応症・有害作用・耐性菌など） 消毒薬の種類、効力、用途（使用法）		
8	【講義】抗腫瘍薬 悪性腫瘍の化学療法薬の主な種類と作用機序、有害作用、支持療法		
定期試験を実施する			

〔成績評価と基準〕

1. 授業参加度(15%) :
出席状況、講義中の質問・課題に対する解答(回答)や事前学習項目の提出などにより積極的な参加度を評価
2. レポート提出(20%) :
理解力、科学的・論理的表現力を評価 (レポートは1回提出の予定、課題および提出期限については講義時に掲示)
3. 前定期試験(65%) :
知識の修得度、論理的思考を評価

〔教科書〕

指定図書は下記とするが、講義の進行は配布資料にもとづき行う。指定図書をしっかり読んで臨むように。
また、系統看護学講座シリーズの専門基礎分野 (解剖生理学・生化学・病態生理学) および 専門分野Ⅱ (成人看護学：呼吸器、循環器、内分泌・代謝、脳・神経) などの図書も適宜参照すること。

指定図書：

吉岡充弘：系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学, 医学書院。

〔参考書・参考資料〕

- 下記に記載の1および2は看護系学生を対象、3および4は医学部学生を対象とした標準的な薬理学の書籍である。
さらに、5はハーバード大学での薬理学講義内容を纏めた訳書である。
1. 渡邊泰秀, 安西尚彦, 桜田香 (編) : コメディカルのための薬理学, 朝倉書店.
 2. 古川裕之, 赤瀬智子, 林正健二, 大西弘高 (編) : ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学, メディカ出版.
 3. 田中千賀子, 加藤隆一, 成宮 周 (編) : NEW 薬理学, 南江堂.
 4. 飯野正光, 鈴木秀典 (編) : 標準薬理学, 医学書院.
 5. 渡邊裕司 (監訳) : ハーバード大学講義テキスト 臨床薬理学, 丸善.

授業科目 (英名)	精神看護学 (Psychiatric and Mental Health Nursing)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○関根 正	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	精神保健		
〔授業の概要〕 こころの健康と機能およびライフサイクルに特徴的な課題や、個人および社会におけるメンタルヘルスを維持・向上するための考え方および制度について学修する。また、こころの課題を抱えながら生活している人の人権や権利擁護について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、個人・社会におけるメンタルヘルスを維持・向上するための考え方および制度について学修する。			
〔到達目標〕 1. 現代社会におけるメンタルヘルスとメンタルヘルスの問題について説明する。 2. ライフサイクルにおけるメンタルヘルスとメンタルヘルスの問題について説明する。 3. ストレス理論および危機理論とその活用について説明する。 4. ストレングスモデルおよびストレングスとその活用について説明する 5. 代表的なメンタルヘルスの問題である摂食障害持つ人と看護・支援について説明する。 6. 代表的なメンタルヘルスの問題である発達障害を持つ人への看護・支援について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】現代社会とメンタルヘルス： 現代社会とメンタルヘルスとの関連 メンタルヘルスの維持向上に向けた動と看護・支援に関する最新の知見		関根 正
2	【講義】心とは： 自我機能と防御機制		
3	【講義】ライフサイクルとメンタルヘルス①： 乳児期から思春期における心の健康と健康問題		
4	【講義】ライフサイクルとメンタルヘルス②： 青年期から老年期における心の健康と健康問題		
5	【講義】メンタルヘルスと看護①： ストレス理論および危機理論とその活用		
6	【講義】メンタルヘルスと看護②： ストレングスモデルおよびリカバリーの概念とその活用		
7	【講義】メンタルヘルスと看護③： 摂食障害をもつ方の理解と看護・支援		
8	【講義】メンタルヘルスと看護④： 発達障害をもつ方の理解と看護・支援		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験：50％ 課題レポート：20％ 授業参加度(リフレクションの内容)：30％ 課題レポートについては、7回目、8回目の授業中に提示する。			
〔教科書〕 精神看護学[1] 精神看護の基礎 第6版（系統看護学講座(専門分野), 医学書院.			
〔参考書・参考資料〕 精神看護学I こころの健康と地域包括ケア 改訂第3版, 南江堂.			

授業科目 (英名)	臨床心理学 (Clinical Psychology)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○野畑 友恵	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：選択 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	精神保健		
〔授業の概要〕 こころに問題を抱える人のこころの動きや行動を、人格理論や心理査定などを用いて理解する。人の悩みや葛藤に 寄り添い、抱える問題を対象者自身が解決できるように援助する方法について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、対象者が抱える問題を自身で解決 できるような援助方法について学修する。			
〔到達目標〕 1. 心理相談の過程を説明する。 2. 心理面接における会話の特徴を説明する。 3. 心理検査の役割や特徴を説明する。 4. 心理援助の方法や理論を説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】〔心理相談の役割〕 人が悩みを抱える仕組みを学び、心理相談の役割を理解する。		野畑 友恵
2	【講義】〔心理相談の過程〕 心理相談の過程を学び、心理相談の目的を理解する。		
3	【講義】〔心理面接〕 会話を通して情報を集める過程を学び、言葉の特徴を理解する。		
4	【講義】〔心理査定①〕 心理検査の用途を学び、検査の役割を理解する。		
5	【講義】〔心理査定②〕 人の特性を客観的に測定する方法を学び、心理検査の特徴を理解する。		
6	【講義】〔心理援助①〕 さまざまな心理援助の方法を学び、支援方法の多様さを理解する。		
7	【講義】〔心理援助②〕 行動変容のプロセスを学び、支援の仕方を理解する。		
8	【講義】〔心理相談の専門職と倫理〕 心理相談の専門職と職業倫理について学び、対人援助職のあり方について理解する。		
定期試験は実施しない			
〔成績評価と基準〕 授業中の課題(16%)、事前学習(16%)、事後学習(48%)、レポート(20%)で評価する。 授業中の課題は、問いに対して的確に答えているかを評価する。 事前学習は、提示した質問に対して的確に答えているかを評価する。 事後学習は、授業内容をふまえて解答しているかを評価する。 レポートは、授業内容と関連づけて自分の考えをまとめているかを評価する。			
〔教科書〕 指定しない。			
〔参考書・参考資料〕 丹野義彦ほか(2015):臨床心理学 New Liberal Arts Selection, 有斐閣。 鈴木伸一編(2016):からだの病気のこころのケア, 北大路書房。 竹内健児編(2016):心理検査を支援に繋ぐフィードバック 事例でわかる心理検査の伝え方・活かし方[第2集], 金剛出 版。			

授業科目 (英名)	日常生活援助論 (Basic Nursing Skills (Assistance with Self-Care))	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○遠藤恭子 河野かおり 茅島綾	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	クラス分け・複数		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）		
〔授業の概要〕 看護師が行う看護技術のうち、生活過程を整えるための看護援助技術について、対象者のニーズ充足のために創意工夫して、安全・安楽に実施することを体験的に学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、生活過程を整えるための看護援助技術について、体験的に学修する。			
〔到達目標〕 1. 看護技術を看護実践の中で活用することの意味と、看護実践の基盤となる考え方について説明する。 2. 病床・病室の環境整備についての基礎的知識を説明し、技術を実践する。 3. 体位と移動についての基礎的知識を説明し、技術を実践する。 4. 標準予防策、排泄の基礎的知識を説明し、技術を実践する。 5. 栄養と食事の基礎的知識を説明し、技術を実践する。 6. 身体の清潔・衣生活の基礎的知識を説明し、技術を実践する。 7. 看護技術の修得レベルを自己評価し、課題を明確化する。			
回数	授業計画		担当教員
1・2	【講義・演習】ガイダンス 療養生活を送る対象者、看護援助技術とは、日常生活行動に関連した援助技術、 学習方法について 実習室的使用方法について 【演習】 手洗い、標準予防策、物品・掃除用具・廃棄物、床頭台の記録・報告		遠藤 恭子 河野 かおり 茅島 綾
3・4	【講義・演習】活動・休息援助技術 ボディメカニクス、体位変換、ストレッチャー移乗と移送、車椅子移乗と移送、 最新の研究結果からの知見		
5・6	【講義・演習】環境調整技術 環境整備・環境測定、ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換、 苦痛の緩和・安楽確保の技術 ポジショニング、電法		
7・8	【演習】環境調整技術 環境整備・環境測定、ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換、 苦痛の緩和・安楽確保の技術 ポジショニング		
9・10	【演習】【グループチェック】 ベッドメイキング、車椅子移乗		
11・12	【講義・演習】自然排泄援助技術 便器・尿器の与え方、トイレにおける排泄援助、おむつ交換		遠藤 恭子 河野 かおり 茅島 綾
13・14	【講義・演習】清潔・衣生活援助技術 全身清拭、陰部洗浄、洗髪、足浴、臥床患者の寝衣・シーツ交換、最新の研究結果からの 知見		茅島 綾 遠藤 恭子 河野 かおり
15・16	【演習】全身清拭 陰部洗浄、足浴、洗髪、臥床患者の寝衣・シーツ交換		
17・18			
19・20	【演習】【グループチェック】 全身清拭、陰部洗浄、足浴、洗髪、臥床患者の寝衣・シーツ交換		

21・22	【講義・演習】 食事援助技術 食事介助、口腔ケア、経管栄養、最新の研究結果からの知見	遠藤 恭子 河野 かおり 茅島 綾
23	【演習】 総合演習 事例に合わせた看護援助の計画	遠藤 恭子 河野 かおり 茅島 綾
24・25	【演習】 総合演習 対象者に合わせた看護技術の実践	
26・27	【演習】 総合演習 発表会	
28・29 ・30	【演習】 個別チェック 看護技術修得レベルの評価と課題の明確化	
定期試験は実施しない		
〔成績評価と基準〕 個別チェック(30%)、ミニテスト(30%)、グループワークシート・グループチェック(10%)、個人ワークシート(20%)、講義・演習状況(10%)を総合して評価する。 ミニテストは、基本的に講義を行った次の授業で実施する。 グループチェックは、グループおよび個人の看護技術の完成度、メンバーとの協力体制や役割分担の平等性などを総合的に評価する。 グループワークシートは、演習の最後にグループワークを行いながら記載し、その日のうちに提出する。 個人ワークシートは、単元終了後に記載し、指定された日時までに提出する。 講義・演習状況は、グループ学習の参加度、ディスカッションでの発言、リフレクションの提出状況や記述内容を基に評価する。 事前課題や事後課題、レポートは、初回授業および授業内、LMSで内容・提出について具体的に提示する。		
〔教科書〕 有田清子他:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2][3] 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ, 医学書院. e-ナーストレーナー		
〔参考書・参考資料〕 e-learning学習サイト ナーシングスキル https://www.nursingskills.jp/Home/tabid/40/Default.aspx		

授業科目 (英名)	診断-治療援助論 (Basic Nursing Skills (Medical Examination and Treatment))	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○河野かおり 遠藤恭子 茅島綾	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	クラス分け・複数		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）		
〔授業の概要〕 看護師が行う看護技術のうち、診断・治療において患者に実施される看護援助技術について、科学的根拠に基づき、安全・安楽に実施することを体験的に学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、診断・治療において患者に実施される看護援助技術について、体験的に学修する。			
〔到達目標〕 1. 治療・検査の目的を理解し、看護の役割を説明する。 2. 治療・検査を受ける対象者への看護を説明する。 3. 感染予防の概念と基本知識を説明する。 4. 感染予防に関する技術を実践する。 5. バイタルサイン測定の意義を説明し、測定技術を実践する。 6. 呼吸を安楽にする技術を実践する。 7. 自然な排泄が困難な患者に対する看護についての基礎知識を説明し、技術を実践する。 8. 採血の基礎知識を理解し、安全で安楽な採血を実践する。 9. 薬物療法の基礎知識を理解し、安全で安楽な点滴・注射を実践する。			
回数	授業計画		担当教員
1・2	【講義・演習】授業ガイダンス 診断・治療に関する看護		河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾
3・4	【演習】生命の脅かしへの看護 バイタルサイン測定		遠藤 恭子 河野 かおり 茅島 綾
5・6	【演習】個別チェック バイタルサイン測定		
7・8	【講義・演習】安全を守る技術 標準予防策 無菌操作 滅菌手袋の着脱 針刺し防止策 褥瘡ケア 最新の感染予防対策		河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾
9・10	【講義・演習】排泄のバランスを整える技術、末梢循環を促進する技術 導尿、浣腸、弾性ストッキングの着脱		河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾
11・12	【演習】排泄のバランスを整える技術、末梢循環を促進する技術 導尿、浣腸、弾性ストッキングの着脱		
13・14	【演習】個別チェック 導尿		
15・16	【講義・演習】呼吸・循環を整える技術 酸素吸入療法、排痰ケア		河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾
17・18	【講義・演習】検査の支援技術、薬物療法の支援技術 採血、筋肉注射、皮下注射、点滴静脈内注射		茅島 綾 河野 かおり 遠藤 恭子
19・20	【演習】検査の支援技術、薬物療法の支援技術 採血、筋肉注射、皮下注射、点滴静脈内注射		
21・22	【演習】検査の支援技術、薬物療法の支援技術 採血、筋肉注射、皮下注射、点滴静脈内注射		
23・24	【演習】個別チェック 採血、点滴作成		

25・26	【演習】総合演習 計画立案、対象者に合わせた看護技術の実践	河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾
27・28	【演習】総合演習 対象者に合わせた看護技術の実践	
29・30	【演習】総合演習 成果発表会	
定期試験は実施しない		
〔成績評価と基準〕 1. 個別チェック30%、ミニテスト30%、個人ワークシート20%、グループワークシート10%、参加状況(演習への参加状況、グループワークでの発言、ワークシートの記載状況、リフレクションの内容) 10%を総合して評価する。 2. ミニテストは、講義を行った次の授業で実施するが、次回授業までの日数によっては、講義を行う当日に実施することがある。その場合は、事前に周知する。 3. グループワークシートは、演習の最後にグループワークを行いながら記載し、その日のうちに提出する。 4. 個人ワークシートは、単元終了後に記載し、指定された日時までに提出する。 5. ワークシートは提出時間を過ぎたものは受け取らないので注意すること。		
〔教科書〕 任 和子他:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2][3] 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ, 医学書院。		
〔参考書・参考資料〕 e-learning 学習サイト ナーシングスキル https://www.nursingskills.jp/ eナーストレーナー https://enursetrainer.jp/ 医学書院テキスト動画		

授業科目 (英名)	急性期看護方法論 (Acute Care Nursing Methods)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○野口 貴史、菱沼 秀一	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	オムニバス・一部複数		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）		
〔授業の概要〕 危機的状況および周手術期にある人とその家族を対象に、身体侵襲を予測し、合併症の予防、生体機能の回復、苦痛の緩和、社会生活への適応に向けた看護援助方法について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、危機的状況にある人とその家族を対象に、生体機能の回復と苦痛の緩和、社会生活への適応に向けた看護援助方法について学修する。			
〔到達目標〕 1. 周手術期にある患者および家族の身体的・精神的・社会的特徴について説明する。 2. 周手術期に生じる生体反応とその回復過程を説明する。 3. 周手術期に生じる術後合併症を理解し、術前・術後のアセスメントの視点および必要な観察項目を説明する。 4. 周術期にある患者の看護過程を展開し、科学的根拠に基づいた看護ケアを説明する。 5. 周手術期看護における倫理的課題を説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義・演習】ガイダンス、術前の看護 1. ガイダンス 1) アセスメントの視点とその根拠の考え方 2. 術前の看護 1) インフォームドコンセント 2) 術前患者のアセスメント 3) 術前オリエンテーション 4) 術前準備		野口 貴史
2	【講義・演習】肺がんで手術を受ける対象への看護 1. 肺がん、肺切除術に関する基礎的知識 2. アセスメントの視点とその根拠、観察項目 3. 看護の要点		
3	【講義・演習】直腸がんで手術を受ける対象への看護 1. 直腸がん、開腹術、マイルズ手術に関する基礎的知識 2. アセスメントの視点とその根拠、観察項目 3. 看護の要点		
4	【講義・演習】くも膜下出血で手術をうける対象への看護 1. くも膜下出血、クリッピング術に関する基礎的知識 2. アセスメントの視点とその根拠、観察項目 3. 看護の要点		菱沼 秀一
5	【講義・演習】急性心筋梗塞でカテーテル術をうける対象への看護 1. 急性心筋梗塞とその治療に関する基礎的知識 2. アセスメントの視点とその根拠、観察項目 3. 看護の要点		
6	【講義・演習】運動器系の手術を受ける対象への看護 1. 大腿骨骨折とその治療に関する基礎知識 2. アセスメントの視点とその根拠、観察項目 3. 看護の要点		野口 貴史
7	【講義・演習】急性期の場合に必要な看護技術 1. 救急処置 1) ショック時の対応 2) 止血法 3) 心肺蘇生法		野口 貴史 菱沼 秀一

8	【演習】術中の看護 1. 手術室の環境 2. 麻酔・手術による合併症の予防と早期発見のための看護 3. 近年の手術の特徴(ロボット支援手術)	野口 貴史
9	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護① 1. 事例学習 1) 胃がん、腹腔鏡下幽門側胃切除術・Roux-en-Y再建法・D2リンパ節郭清に関する基礎的知識 2) 事例のアセスメントの視点を考える。 3) アセスメントの視点とその根拠、必要な情報を発表する。	野口 貴史 菱沼 秀一
10	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護② 1. 事例学習 事例のアセスメントを行い、関連図を記載する。	
11	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護③ 1. 事例学習 事例のアセスメントを行い、関連図を記載する。	
12	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護④ 1. 事例学習 アセスメントを発表する。	
13	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護⑤ 1. 事例学習 事例の看護問題、優先順位、長期/短期目標をグループで検討し、全体で発表する。	
14	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護⑥ 1. 事例学習 事例の患者に必要な看護計画を立案し、全体で発表する。	
15	【演習】胃がんで手術を受ける対象への看護⑦、科目のまとめ 1. 事例学習 立案した看護計画を基に患者へ看護実践を行う。 2. 科目のまとめ	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 関連図・アセスメント：50%、定期試験：40%、出席・授業参加度：10%により評価する。 欠席した場合、テストは0点とする。		
〔教科書〕 系統別看護学講座専門分野 成人看護学総論 第16版, 医学書院。 鎌倉やよい, 深田順子(2008): 周術期の臨床判断を磨く, 医学書院。 系統別看護学講座別巻 臨床外科看護各論, 医学書院。 系統別看護学講座別巻 クリティカルケア看護学, 医学書院。		
〔参考書・参考資料〕 系統別看護学講座専門分野 成人看護学総論, 医学書院。 深田順子, 鎌倉やよい(2021): 周術期の臨床判断を磨くⅡ, 医学書院。 系統別看護学講座専門Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器, 医学書院。 系統別看護学講座専門Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器, 医学書院。 系統別看護学講座専門Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器, 医学書院。 系統別看護学講座専門Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経, 医学書院。 系統別看護学講座別巻 臨床外科看護総論, 医学書院。 黒田裕子, 林みよ子(2013): クリティカルケア看護 完全ガイド, 医師薬出版。 菱沼秀一(2021): フライトナースの秘密ードクターヘリで出動する救急看護師の仕事, 彩流社。		

授業科目 (英名)	日常生活援助実習 (Daily Life Assistance Practice)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○河野 かおり 上田 理恵 遠藤 恭子 茅島 綾 齋藤 道子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	複数		
施行規則に定める 科目	養護に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）		
〔授業の概要〕 健康課題を有する患者への日常生活援助を通して、看護の対象を統合体として理解し、必要かつ適切な看護を実践するための基礎的能力を修得する。			
〔授業の目的〕 DP1～5の能力を連続的・階層的に養うために、看護の対象を統合体として理解し、必要な日常生活援助を実践するための基礎的能力を修得する。			
〔到達目標〕 1. 入院患者が生活する療養環境を理解する。 2. 看護過程の展開を通して、看護の対象となる人々に必要な援助を明確にすることができる。 3. 看護過程を展開し、看護の対象となる人々に必要な看護を実践・評価する。 4. 医療チームにおける他職種の役割と看護師の役割について理解する。 5. 看護師として必要な倫理観を養う。			
回数	授業計画		担当教員
	1. 実習期間 Ⅰ期：令和7年9月15日～9月26日のうち10日間 Ⅱ期：令和7年9月29日～10月10日のうち10日間 Ⅲ期：令和7年10月13日～10月24日のうち10日間 実習時間：8時30分～16時 2. 実習内容 1) 各実習病棟のオリエンテーション (1) 看護師長から病棟の理念や目標、看護方針、看護の特徴などの説明を受ける。 (2) 学生指導者から病棟の特徴と構造、設備、病棟の看護目標、看護体制、週間スケジュール、病棟の日課、記録類の説明を受ける。 (3) 患者1名を受け持ち、看護過程を展開する。 (4) 受け持ち患者のニーズに応じた看護を実践し、評価する。 3. 事前課題 〔夏季休暇中〕 (1) 成人期・老年期の発達段階の特徴をまとめる。 (2) 看護過程展開論とフィジカルアセスメントの授業資料をLMSからダウンロードし資料を整理し、復習する。 (3) バイタルサインの基準値 (4) 医療廃棄物の取り扱いと分別方法（基礎看護学実習Ⅰの事前学習の復習） (5) 日常生活援助技術の目的・方法・根拠・必要物品について視聴覚教材を視聴する。 ・環境整備・シーツ交換 ・寝衣交換・全身清拭、洗髪、足浴 ・食事介助・口腔ケア ・おむつ交換、陰部洗浄・便器、尿器、ポータブルトイレでの排泄援助 ・移乗・移乗と移送（車椅子・ストレッチャー） ・体位変換、ポジショニング 〔受け持ち患者決定後〕 (1) 受け持ち患者の疾患に関する人体の構造と機能、病態、主な治療・検査 (2) 受け持ち患者の発達課題、必要なフィジカルアセスメント (3) 受け持ち患者に合わせて、看護過程展開論の授業資料を参考に看護過程の展開を学習する		河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾 上田 理恵 齋藤 道子

	4. カンファレンス 毎日カンファレンスを行う。テーマはグループメンバーで話し合って決定する。 中間カンファレンス…対象者の全体像と看護問題について 最終カンファレンス…実習全体を通しての学び <授業外学習> ・実習開始前は、提示された事前課題に取り組む ・実習中は、教員と実習指導者の指導や助言を基に記録を進める 5. 実習スケジュール 【第1週】 月…オリエンテーション 火～金…受け持ち患者の看護 【第2週】 月～火…受け持ち患者の看護 水…最終カンファレンス、看護過程の展開の記録整理 木…記録整理、報告会資料作成 金…報告会、評価面接	河野 かおり 遠藤 恭子 茅島 綾 上田 理恵 齋藤 道子
〔成績評価と基準〕 実習評価表に基づいて総合的に評価する。詳細は実習要項参照。		
〔教科書〕 任 和子他:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2][3] 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ, 医学書院.		
〔参考書・参考資料〕 e-learning 学習サイト ナーシングスキル https://www.nursingskills.jp/ eナーストレーナー https://enursetrainer.jp/ 医学書院テキスト動画		

6. 実習方法（各保育施設の指示に従う） ・保育施設初日に、園長からオリエンテーションを受ける。 ・担当するクラスの保育士に学生氏名と実習時間を伝え、保育士の指示に従い実習を行う。 ・実習終了時には、担当保育士に、その日の学びを報告し、学生全員で園長に挨拶する。 7. 服装 ・ポロシャツ、薄手のトレーナー、ジャージなどの動きやすい服装。 ・配膳時には、保育用のエプロンを着用する。 ・不織布マスクを着用する。 ・上履きと外履きを準備する。上履きはシューズタイプを持参し、外履きは運動靴を履いていく。 ・髪の毛はまとめる。 ・時計やアクセサリは、身につけない。 ・予備の着替え、タオル、帽子を持参する。 8. 注意事項（各保育施設の指示に従う） ・トイレなど、その場を離れる時には、必ず職員に声をかける。 ・子どもがケガをした際、困ったことが生じた時には、速やかに職員に報告する。 ・実習中に体調不良を生じた場合は、各クラスの保育士・幼稚園教諭または園長に速やかに報告する。 ・欠席の場合は、教員に連絡する。保育園には、教員が欠席を連絡する。 ・貴重品、スマートフォン、多額の現金は保育園に持ち込まない。	玉村 尚子 小西 美樹 越雲 美奈子
〔成績評価と基準〕 実習評価表（ルーブリック評価表）に基づいて総合的に評価する。詳細は実習要項参照。	
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学①小児看護学概論/小児臨床看護学総論, 医学書院. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学②小児臨床看護各論, 医学書院.	
〔参考書・参考資料〕 『保育園の健康教育』編集委員会：「明日から」すぐ使える保育園の健康教育, 赤ちゃんともママ社. 中村 富美子:養護教諭のためのスキルアップガイド, 明治図書出版. にしもとのおさむ:からだのふしぎ, 世界文化社. 他、小児実習室に備え付けの図書など適宜紹介する	

授業科目 (英名)	小児看護学医療実習 (Practicum in Child Health Nursing (Medical Care))	単位数	1単位	
		看護学部における 必修・選択等の別	必修	
担当教員	○越雲 美奈子 小西 美樹 玉村 尚子	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修	
担当形態	複数			
施行規則に定める 科目	養護に関する科目			
施行規則に定める科 目区分又は事項等	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）			
〔授業の概要〕 子どもの健康障害が子どもと家族へ与える影響と、活用できる保健医療福祉に関する社会資源についての理解を深める。その上で、子どもと家族の成長発達段階を踏まえた療養生活における援助を実践する能力を養う。				
〔授業の目的〕 DP1～5の能力を連続的・階層的に養うために、子どもと家族の成長発達段階を踏まえた療養生活における援助を実践する能力を修得する。				
〔到達目標〕 1. 子どもと信頼関係を構築し、子どもの権利を尊重して関わることができる。 2. 子どもの健康障害が成長・発達や日常生活へ及ぼす影響を理解し、表現することができる。 3. 子どもの健康障害と発達段階を考慮し、日常生活の援助を実践することができる。 4. 子ども・家族の安全に配慮し、必要な看護ケアを計画・実施・評価することができる。 5. 健康障害を有する子どもと家族の体験を理解し、そこから得た学びを自らの看護観として表現することができる。				
回数	授業計画		担当教員	
	1. 実習期間：令和8年9月21日～令和8年12月18日のうち1週間 実習時間：8時～15時30分		越雲 美奈子 玉村 尚子 小西 美樹	
	2. 実習内容 1) 健康障害によって入院が必要となった子ども1名を担当し、子どもと家族を対象に看護を展開する。 2) 実習期間中に小児外来を見学し、急性疾患に罹患した子ども・家族、慢性疾患のため継続した通院が必要な子ども・家族、健康診査や予防接種を受ける子ども・家族などの様子と看護師の関わりから小児外来における看護支援の方法を学ぶ。 3) 子どもに関わる医療福祉制度と関連職種の活動内容と連携体制を学ぶ。 ・ 病院内の部門 （要保護委員会の機能、産科医師、小児科医師、小児外科医師、臨床心理士、MSW、退院支援部門、小児病棟、小児外来、救急外来、手術部、栄養部、薬剤部、放射線部、輸血部、臨床工学部、臨床検査センターなど） ・ 病院外の専門施設 （市町村役場、保健所、訪問看護ステーション、かかりつけ医、児童相談所、医療機器材料取り扱い業者など） ・ 健康障害を有する子どもと家族を支える社会のしくみ （社会保障制度、医療保険制度、診療報酬制度など）			
	3. 事前学習 1) 小児病棟、小児外来の概要（機能、構造、特徴） 2) 子どもの各発達段階における特徴について			
	4. カンファレンス 1) 中間カンファレンス…担当患児のアセスメント、看護問題、看護計画 2) 最終カンファレンス…実践した看護および評価、小児看護学実習（医療）での学び			
	5. 実習スケジュール			
	曜 日	実習内容		記録
	月	実習オリエンテーション、担当患児決定、情報収集		自己学習用紙、情報収集用紙
	火	病棟実習		アセスメント用紙
	水	病棟実習		看護問題と看護計画
	木	病棟実習		看護計画の実施・評価
金	病棟実習、最終カンファレンス	小児看護学実習の学び		
※火、水、木のいずれかで、外来での見学実習（1～2時間）を行う。				

〔成績評価と基準〕 実習評価表（ルーブリック評価表）に基づき総合的に評価する。詳細は実習評価表を参照。
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学①小児看護学概論/小児臨床看護学総論, 医学書院. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学②小児臨床看護各論, 医学書院.
〔参考書・参考資料〕 鴨下重彦監:こどもの病気の地図帳, 講談社. 山高篤行他編:小児外科看護の知識と実際, メディカ出版. 丸光恵監:ココからはじめる小児がん看護, へるす出版. 鈴木康之監:新訂版 写真でわかる重症心身障害児(者)のケア アドバンス, インターメディカ. 及川郁子監:チームで支える!子どものプレパレーション, 中山書店. 島田和幸他編:今日の治療薬2023, 南江堂. 他、小児実習室に備え付けの図書など適宜紹介する。

授業科目 (英名)	教職総合演習 (Teaching General Seminar)	単位数	1単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○東 宏行 関根 正	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：選択
担当形態	複数		
施行規則に定める 科目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	—		
〔授業の概要〕 教員としての資質能力の総合的な向上の基礎を学ぶ。具体的には以下の3点が授業の軸となる。①2年次までに受講した「教職の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」（以下「教職関連科目」）をふりかえり、養護教諭に必要な教職教養を確実なものにしていく。②教職関連科目だけではなく、教養科目や専門科目等から学んだことも踏まえながら、各自が養護教諭になるために必要な教養とは何かを考え、課題を見つけ、調査、研究を進めて発表、表現する。③学んだことを発表したり、ディスカッションしたりする経験を通し、基本的なコミュニケーションやチームで問題を解決する力を伸長させること。全体として学習テーマをそれぞれが発見し、グループ形式で自ら課題を選択して調査、研究していくことを軸として、適宜教員からの補足授業と助言を行う。			
〔授業の目的〕 「DP4. プロフェッショナリズムを身につ付け、倫理的行動をとることができる」力を養うために、3年次前期までの学びをふりかえり、教職の専門性を向上させるための基礎を伸長させる。			
〔到達目標〕 1. 現代の学校教育や子ども・若者の状況を中心として、問題・課題を発見し、調査することができる。また、その結果を発表、表現し、小論文にまとめることができる。 2. 教職に必要な教養を自ら学び続ける方法を修得する。またこれまでに学んできた教職関連科目を実践的な課題あるいは社会的な課題と結びつけるための、総合的な枠組みを、自ら調査・研究し、発表、表現することができる。 3. 教育をめぐる様々な事項、社会や文化に関する事項等についてディスカッションすることができる。			
回数	授業計画		担当教員
1	ガイダンス： 学習の進め方に関する説明を行う。また、受講生各自が次回以降の学習を進めるためのポイントを概説する。		東 宏行 関根 正
2	履修カルテのふりかえり： 各自の学習課題を抽出し、学習計画（をたてる。		東 宏行 関根 正
3	テーマ別グループ学習（課題調査1）： 現代の学校現場で起きていることを重視し、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTの活用等の課題の他、学力の向上や家庭・地域との連携協力等に関するテーマを重視する。		東 宏行 関根 正
4	テーマ別グループ学習（課題調査2）： 現代の学校現場で起きていることを重視し、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTの活用等の課題の他、学力の向上や家庭・地域との連携協力等に関するテーマを重視する。		東 宏行 関根 正
5	テーマ別グループ学習（課題調査3）： 現代の学校現場で起きていることを重視し、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTの活用等の課題の他、学力の向上や家庭・地域との連携協力等に関するテーマを重視する。		東 宏行 関根 正
6	課題調査結果の共有化と批評（各グループの課題調査結果の発表と共有化及び相互評価）		東 宏行 関根 正
7	小論文： これまでの課題調査、課題研究の結果を踏まえ、各自が小論文にまとめるための準備を行う。担当教員から、教育に関する小論文に関する概説を踏まえて、執筆計画を立てる。		東 宏行 関根 正
8	小論文の発表と相互評価（小グループに分けて実施する）		東 宏行 関根 正
定期試験は実施しない			

〔成績評価と基準〕 課題調査、課題研究の取り組み状況(含発表会):40% 課題調査、課題研究の相互評価:20% 小論文の完成度:40%
〔教科書〕 指定しない
〔参考書・参考資料〕 適宜紹介するが、3年次前期までの教職関連科目で使用した教科書と参考書を活用する。

授業科目 (英名)	日本国憲法と人権 (The Constitution of Japan and Human Rights)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○永井 紹裕	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：選択 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	日本国憲法		
〔授業の概要〕 国の基本法である日本国憲法について、憲法の基本原理とその根底をなす思想と人権について学修する。人々の生活に深く関わりのある現代的な課題を取り上げ、くらしとの関わりに留意しながら主権者としての判断能力を身につけられるよう学修する。			
〔授業の目的〕 「DP4. プロフェッショナリズムを身に付け、倫理的行動をとることができる」力を養うために、日本国憲法の基本原理と思想、人権について学修する。			
〔到達目標〕 1. 日本国憲法の基本原理について説明する。 2. 具体的事例の考察を通じて、人権論の全体像について説明する。 3. 統治機構の基本構造及び国家の役割について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】ガイダンス 人権とは何か、憲法とは何か		永井 紹裕
2	【講義】憲法による人権保障とその限界		
3	【講義】人権保障の射程（外国人・法人）		
4	【講義】プライバシー権、自己決定権		
5	【講義】精神的自由権（思想良心の自由、信教の自由）		
6	【講義】精神的自由権（表現の自由）		
7	【講義】経済活動の自由、財産権		
8	【講義】人身の自由と刑事訴追、実質的平等と社会権		
9	【講義】天皇制と平和主義		
10	【講義】権力分立と統治機構		
11	【講義】権力分立と立法機関（国会）		
12	【講義】権力分立と行政機関（内閣）		
13	【講義】権力分立と司法機関（裁判所）		
14	【講義】地方自治		
15	【講義】これまでのまとめ		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 平常点(確認テスト、小テスト、レポート等)40%、定期試験60%			
〔教科書〕 安西文雄他(2018)：憲法学読本 第3版, 有斐閣.			
〔参考書・参考資料〕 長谷部恭男(2022)：憲法講話 第2版, 有斐閣.			

授業科目 (英名)	スポーツと健康 (Sports and Health)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	選択
担当教員	○村山 晴夫	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：選択 助 産 師：選択 養教一種：必修
担当形態	クラス分け・単独		
施行規則に定める 科目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項	体育		
〔授業の概要〕 スポーツを通して、身体の成長・発達や健康の促進、社会性、協調性、公正な判断やルールを厳守する態度について学修する。また、実際に自身の身体を活用し、日常生活にスポーツを取り入れた影響や健康増進の手段としてのスポーツについて理解を深め、自身の健康の生成方法を探る。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、スポーツを通して、協調性や公正な判断やルールを厳守する態度について学修する。			
〔到達目標〕 1. 基本練習によって、正確な基本技術の習得や集団内での協調性を身につける。 2. 公正な判断や正確なルール、審判技術について説明する。 3. 各自が健康管理に努め、体力の維持増進を図ることについて説明する。 4. 運動・スポーツが心身に及ぼす影響に関する知識を習得する。 5. 健康づくりのための運動・スポーツを実践できるようになる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【実技】オリエンテーション、体ほぐし運動		村山 晴夫
2	【実技】体力測定		
3			
4	【実技】バレーボール、バドミントン		
5			
6			
7			
8	【講義】健康づくりの必要性		
9	【実技】バレーボール、バドミントン		
10	【講義】運動による生活習慣病の予防		
11	【実技】バレーボール、バドミントン		
12	【講義】運動の健康効果<免疫>		
13	【実技】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ストレッチング等		
14	【講義】運動の健康効果<脳>		
15	【実技】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ストレッチング等		
16	【講義・演習】スポーツ外傷と応急処置<スポーツテーピング実習>		
17	【実技】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ストレッチング等		
18	【講義】運動の健康効果<メンタルヘルス>		
19	【実技】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ストレッチング等		
20	【講義】高齢者と生涯スポーツ		
21	【実技】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ストレッチング等		
22			
23	【講義】講義内容の総合復習（小テスト）		

定期試験は実施しない
〔成績評価と基準〕 実技(態度・姿勢)40%、レポート(感想コメント)25%、小テスト(講義)35%。 なお、本科目においては、成績再評価は実施しない。
〔教科書〕 講義資料については適宜配布する。特に指定しない。
〔参考書・参考資料〕 必要な資料等は適宜指示する。

授業科目 (英名)	コミュニケーション英語 (Communication English)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○飯塚 秀樹	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	クラス分け・単独		
施行規則に定める 科目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	外国語コミュニケーション		
〔授業の概要〕 これまでに培った英語基礎力を活用し、4技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) を組み合わせながら、日常生活において英語でコミュニケーションを図ることを目標に学修する。英語の学修を通して、人々の生活、ものの見方、考え方の違いを知り、人間の多様性について考える手法を身につける。			
〔授業の目的〕 「DP5. グローカルな視野で、多様性を尊重することができる」力を養うために、英語基礎力を活用し、英語でコミュニケーションを図ることを目標に学修する。			
〔到達目標〕 1.Students can practice speaking English. 2.Students can practice listening to English. 3.Students can improve their overall English communication skills. 4.Students can actively participate in English group work. 5.Students can actively support and help partners during English pair work and group work.			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義・演習】 Introduction to English courses including English I / Unit 1: Dreams and Aspirations, L&S		飯塚 秀樹
2	【講義・演習】 Unit 1: Dreams and Aspirations, Reading & Writing		
3	【講義・演習】 Unit 1: Dreams and Aspirations, Reading & Writing		
4	【講義・演習】 Unit 2: Sports and Leisure, Reading & Listening		
5	【講義・演習】 Unit 2: Sports and Leisure, Speaking & Writing		
6	【講義・演習】 Unit 3: Routines and Habits, Reading & Listening		
7	【講義・演習】 Unit 3: Routines and Habits, Speaking & Writing		
8	【講義・演習】 Unit 4: Social Behavior, Reading & Listening		
9	【講義・演習】 Unit 4: Social Behavior, Speaking & Writing		
10	【講義・演習】 Unit 5: University Life, Reading & Listening		
11	【講義・演習】 Unit 5: University Life, Speaking & Writing		
12	【講義・演習】 Unit 6: Culture and Traditions, Reading & Listening		
13	【講義・演習】 Unit 6: Culture and Traditions, Speaking & Writing		
14	【講義・演習】 Unit 7: Four Seasons, Reading & Listening		
15	【講義・演習】 Unit 7: Four Seasons, Speaking & Writing		
定期試験は実施しない			

〔成績評価と基準〕 講義・グループワークへの参加状況・リフレクションの内容(30%)、グループワークの発表(30%)、小テスト(40%)を総合して評価する。
〔教科書〕 English In Tune. Cengage Learning.
〔参考書・参考資料〕 適宜指示する。

授業科目 (英名)	医療英語 (Medical English)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○飯塚 秀樹	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	クラス分け・単独		
施行規則に定める 科目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	外国語コミュニケーション		
〔授業の概要〕 医療に関する英語の文章を正確に読む力、および医療に関する英語の語彙力・聴解力・表現力を養う。特に、保健医療福祉施設を利用する対象とのコミュニケーションに必要な英語力の修得を目標に学修する。			
〔授業の目的〕 「DP5. グローカルな視野で、多様性を尊重することができる」力を養うために、医療に関する英語の語彙力・聴解力・表現力の修得を目標に学修する。			
〔到達目標〕 1. 患者からの訴えや質問を正確に聞き取れる英語リスニング力を身につける。 2. 患者に必要な指示や説明を英語で適切に行う。 3. 外国の文化・思想を正しく理解・認識し、実践に活かす。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義・演習】 オリエンテーション		飯塚 秀樹
2	【講義・演習】		
3	Unit 1 : Hospital Departments ：病院の各診療科名等に関する単語・表現等を学び、初診受付・案内等を英語で行う。		
4	【講義・演習】		
5	Unit 3 : Part of the Body ：身体部位等に関する単語・表現等を学び、症状聴取等を英語で行う。		
6	【講義・演習】		
7	Unit 4 : Illnesses ：病名・症状等に関する単語・表現等を学び、問診・患者情報聴取等を英語で行う。		
8	【講義・演習】		
9	Unit 5 : Daily Routine Unit 6 : Hospital Objects ：病院業務、物品等に関する単語・表現等を学び、患者案内や指示等を英語で行う。		
10	【講義・演習】		
11	Unit 8 : Hospital Directions and Instructions Unit 10 : Chatting with a Patient ：病院内案内や病棟業務、バイタルサイン測定等に関する単語・表現等を学び、英語で実施できるようにする。		
12	【講義・演習】		
13	Review : Units 1, 3, 4, 5, 6 : 復習		
14	【講義・演習】		
15	Unit 11 : Taking a Medical History ：病歴聴取、病名に関する単語・表現等を学び、英語で実施できるようにする。		
16	【講義・演習】		
17	Review : Units 10, 11 : 復習		
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験(70%)、ミニテスト(15%) [5%×3]、毎回の授業で実施し提出する課題(15%)、により評価する。			
〔教科書〕 Vivian Morooka & Terri Sugiura, Vital Signs[Revised Edition], Essential English for Healthcare Professionals, 南雲堂			
〔参考書・参考資料〕 各授業のトピックにあわせて随時指示する。			

授業科目 (英名)	情報リテラシー (Information Literacy)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○坂東 宏和	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	クラス分け・単独		
施行規則に定める 科目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報機器の操作	
〔授業の概要〕 高度情報社会において必要とされる倫理感を身につけ、適切な情報手段を自主的に選択し、活用していくための基本的な知識について学修する。また、それらの知識を活用した情報機器の操作方法、コンピュータの基本的な操作方法や統計処理技術を修得する。			
〔授業の目的〕 「DP4. プロフェッショナルリズムを身につけ、倫理的行動をとることができる」力を養うために、適切な情報手段を選択・活用するための基本的な知識・技術について学修する。			
〔到達目標〕 1. データや最新の情報技術（AI等）の活用により医療現場や社会が大きく変化していることを踏まえた上で、それらを活用することの利点と課題、倫理的な問題点、現状と今後を説明する。 2. 情報および情報手段を自主的に選択し活用していくための基礎的な技術を身につけ、主体的学修や日々の生活において活用する。 3. データリテラシー（データを読む・説明する・扱う）を身につけ、データの分析・まとめ、データに基づく適切な判断を行う。 4. データ・AIを扱う上での留意事項、および、データを守る上での留意事項を遵守し、データ・AIを安全に活用する。 5. 情報発信を行う上での留意事項を遵守し、倫理に反しない適切な情報発信をする。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】社会におけるデータ・AI利活用／最新の情報技術と医療／データ・AIを扱う上での留意事項(1) 医療従事者をめざす皆さんが数理・データサイエンス・AIを学修する意義について理解する。 社会で起きている変化（Society5.0・データ駆動型社会等）、データ・AIの活用領域の広がり、サービス・公共等におけるデータ・AI利活用事例、AI等を活用した新しいビジネスモデル等の概要を理解する。 具体的な事例を通して、医療・看護・介護現場でのAI等の情報技術の活用について理解する。 AIを扱う上での留意事項（ELSI、AI社会原則等）について理解する。		坂東 宏和
2	【講義・演習】データリテラシーとは(1) 総務省統計局が公表している「人口推計」のデータを用いて将来の人口分布を予測する演習により、データ解析ツール（表計算ソフトウェアExcel）の基本的な活用方法を学修する。		
3	【講義・演習】データリテラシーとは(2) 総務省統計局が公表している「人口推計」のデータを用いて将来の人口分布を予測した結果をレポートにまとめる演習により、レポート・論文等の基本的な体裁／ルールを理解する。 参考文献等を適切に明示できるようにする。 著作権を理解し、著作物等を適切に活用できるようにする。 情報の信頼性を考慮した、適切な情報検索の方法を理解する。		
4	【講義・演習】データリテラシー（データを扱う）(1) 仮想的なデータを利用し、表計算ソフトウェア（Excel）を活用した基本的なデータの集計方法（和や平均等）、絶対・相対参照の考え方、グラフ等の作成方法を学修する。		
5	【講義・演習】データリテラシー（データを扱う）(2) CSV形式で提供される簡単なアンケートの回答データを利用し、条件付き書式、並べ替え、フィルター、ピボットテーブル等に関する操作と活用方法を学修する。		
6	【講義・演習】データを守る上での留意事項(1)／セキュリティ対策／情報発信を行う上での留意事項 学生生活に必須であるコンピューターを利活用する上での注意点を理解する。 コンピュータウイルス等の脅威を知り、自らのコンピュータを守る方法を理解する。 自ら情報発信ができるSNS(Social Networking Service)の利用等における注意点を理解する。		

7	【講義・演習】データ・AI利活用のための技術(1)／データ・AIを扱う上での留意事項(2)／データを守る上での留意事項(2) コンピュータ、AI、機械学習の概要、ビッグデータがなぜ必要か、医療情報の匿名加工、データのオープン化、今のAIで出来ることと出来ないこと等について学修する。 医療情報・患者情報の取り扱い、倫理、規則などを理解する。 個人情報保護、データ・情報漏洩のリスクとその予防策・対応策を理解する。 データ・AI活用における負の事例を知り、それらを活用する上での留意事項を学修する。	坂東 宏和
8	【講義・演習】データ・AI利活用のための技術(2) データ解析・データの可視化の概要について学修する。 簡単なシミュレーションソフトウェアを活用した演習を行う。	
9	【講義・演習】データリテラシー（データを読む）(1) 授業中に実施した簡単なアンケートの回答データを利用し、統計解析の演習を行う。 データの種類（量的変数・質的変数）、代表値の意味と違い（平均値・中央値・最頻値）、データのばらつき（分散）等を理解し、表計算ソフトウェアを用いて適切に計算・活用できるようにする。	
10	【講義・演習】データリテラシー（データを読む）(2) 授業中に実施した簡単なアンケートの回答データを利用し、統計解析の演習を行う。 相関やt検定などの意味を理解し、表計算ソフトウェアを用いて計算・活用できるようにする。 グループごとに「アンケート分析演習」で実施する「調査・分析のためのアンケート」の具体的な設問を検討する。	
11	【演習】アンケート分析演習 グループごとに作成した「調査・分析のためのアンケート」を、相互に回答しあう。 回答データをLMSからダウンロードし、表計算ソフトウェアを活用して、適宜グループ内でディスカッションしながら分析する。	
12	【講義・演習】データリテラシー（データを説明する）(1) データの表現方法（不適切なグラフ表現、不必要な視覚的要素等）を学修する。 「調査・分析のためのアンケート」の回答データを、表計算ソフトウェアを活用して自由に分析する。 分析した結果を、指定された内容・体裁でレポートにまとめる。	
13	【講義・演習】データリテラシー（データを説明する）(2) 効果的な発表を行うためのポイントを学修する。 「調査・分析のためのアンケート」の回答データを分析した結果を発表するための準備を行う。 プレゼンテーションソフトウェア（Power Point）を活用して、発表のためのスライドを作成する。	
14	【演習】データリテラシー（データを説明する）(3) 「調査・分析のためのアンケート」の回答データを分析した結果を相互に発表しあい、相互評価を行う。 相互評価の結果に基づく発表内容の改善を行う。	
15	【講義】医療における最新の情報技術活用事例 AI等の最新の情報技術により、医療・看護・介護現場がどのように変化しているかを再確認する。 本授業全体を通してのまとめと確認を行う。	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 「定期試験」（50%）、「課題への取り組みおよび授業内での発表」（50%）を基準に、総合的に評価する。 課題の具体的な内容および提出期限（原則として1週間後）については、各回の授業中に指示する。また、LMSに同様の内容を提示する。 授業は、コンピューターやタブレット端末の操作、グループワーク、ディスカッション等を含む形態で行う。 出席および遅刻については、看護学部の基準に基づき判定する。		
〔教科書〕 なし		
〔参考書・参考資料〕 授業の進行に合わせて、必要な資料をLMSを利用して配布する。		

授業科目 (英名)	教育原論 ((Principles of Education))	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○東 宏行	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
〔授業の概要〕 教育の理念、歴史及び思想について基礎的事項の概説を行う。教育の理念や思想を歴史的な視座から、海外の教育思想を含めて概説します。特にルソーからデューイへと連なる子ども中心の考え方、コメニウスからブルーナーへと連なる合理的な教授-学習中心の考え方の2つの軸で整理する。また、子ども観の歴史から見えてくる、現代教育の課題についても概説し、現代の子ども、若者をめぐる様々な現状を素材に、教育という実践過程の輪郭を考察する。			
〔授業の目的〕 「DP1. 探究心を持ち、自己を教育し続けることができる」力を養うために、教育の理念と思想を歴史的に把握し、子ども中心の教育観と合理的教授-学習中心の教育それぞれの特徴を把握し、近現代日本における教育の特徴を多面的に考察する能力を身につける。			
〔到達目標〕 1. 教育とは何かという問いに、根拠を持って多面的な視点から答えることができる。 2. 前後日本における子ども・教育観の変遷を説明できる。 3. 子ども中心主義と合理的な教授-学習中心主義の2つの系譜で教育の歴史と思想を説明できる。 4. 1980年代以降の日本の教育に特徴的な考え方を、具体例を含めて説明できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	オリエンテーション・教育とは何か： 教育とは何かという難問について、その枠組を概説し、諸概念、教育の本質、目標に関する論点を整理する。特に「教育」の語源、教育の3つのモデルについて解説する。		東 宏行
2	子どもと児童生徒： 子どもとは何歳を指すのかを児童権利条約を含めた条例、法令上の定義を概説する。学齢期、義務教育について、年齢上の定義を中心とした考察を深める演習を行う。		東 宏行
3	学校教育と家庭教育： 教育が学校教育を中心に理解されがちな背景を概説し、生涯学習や家庭教育といったひろがりについて説明する。特に教育基本法や生涯学習振興法に触れながら、法令上の根拠にも触れる。		東 宏行
4	教育関連法令の整理： 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則を軸とした、教育法令の基礎を学ぶ。e-Govの使い方、文部科学省ホームページ、国立教育政策研究所ホームページの使い方の演習。		東 宏行
5	教育の歴史的背景： 教育がどのように始まったのか、様々な説を取りあげて概説する。人材養成という考え方の登場、優生学的な考え方や矯正教育的な考え方、脱学校論等にも触れ、多様な見方があることを説明する。		東 宏行
6	子ども・教育観の歴史： 戦後日本における「子供」「子ども」「こども」の歴史を概説する。つくりあげる対象から援助する対象へと転換した1960年代を中心に解説する。		東 宏行
7	子ども・教育観の歴史： 1980年代の子ども・教育観の変化を概説する。フィリップアリエス「子どもの誕生」がもたらした視点の転換が、日本の教育観に与えた影響を中心に解説し、ディスカッションを行う。		東 宏行
8	子ども中心主義と合理的な教授-学習中心主義： 教育に関する2つの考え方の系譜を概説するコメニウスからブルーナーへと連なる合理的な教授-学習中心の考え方について、教育思想家を中心に2つの軸で解説する。		東 宏行
9	合理的な教授-学習中心主義の系譜： コメニウスの「教刷術」からベル・ランカスター法の思想に触れ、ヘルバルトの教授法が日本に与えた影響、科学的管理法が学校教育に与えた影響を概説する。		東 宏行
10	子ども中心主義の系譜（1）： 子ども中心主義の系譜を、教育思想家の考え方の変遷を中心に概説する。ルソー、ペスタロッチ、デューイへと連なる考え方について、演習を含めた解説を行う。		東 宏行

11	子ども中心主義の系譜（2）： デューイの実験学校以降、第二次世界大戦直後までの様々な改革プラン（ドルトンプラン等）を中心に概説する。また、子ども中心主義が日本の大正自由教育でも始まった点に触れる。	東 宏行
12	子ども中心主義の系譜（3）： 戦後の子ども中心主義の教育思想を概説する。フランスのアビ改革、羅生門アプローチの考え方、日本のゆとりの教育等の考え方や背景について解説する。	東 宏行
13	1980年代以降の日本の教育（1）： 少年事件の受け止め方と、それを背景とした、教育に関する考え方がどのように変化したのかを概説する。特に1997年の少年事件前後の変化について解説する。	東 宏行
14	1980年代以降の日本の教育（2）： 2000年の虐待防止法、少年法改正以降、保護とケアの両面で教育が構想されてきた近年の教育思想の歴史を概説する。	東 宏行
15	教育の理念、歴史思想のまとめ： 全体をふりかえり、まとめと補足を行い、教育制度論に向けた学習のための視点を解説する。	東 宏行
定期試験		
[成績評価と基準] 定期試験:50% 授業への参加度(リアクションペーパー、演習やディスカッションへの参加度):50%		
[教科書] 汐見稔幸, 東宏行他編著(2011):よくわかる教育原理, ミネルヴァ書房.		
[参考書・参考資料] 勝野正章他編(最新年度版):教育小六法, 学陽書房. 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/ 国立教育政策研究所ホームページ http://www.nier.go.jp/		

授業科目 (英名)	教職概論 (Introduction to teaching profession)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○東 宏行	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		
〔授業の概要〕 受講生がこれまでに持ってきた教師像をふりかえることからスタートし、教師という仕事の職業特性、現代の教師に求められる役割と資質能力、教師の資質と職務の概要、教員の服務の特徴について、概説を行う。そのうえで、教員の採用と研修、地域や保護者とのかかわりと働き方改革、チーム学校の中の教師について、グループ別の調査、ディスカッション等の演習を通して理解を深める。関連法令についての解説や、中央教育審議会答申等から教職に求められていることを考察する演習も取り入れて授業を展開する。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、教職に関する制度や法令、働き方改革の現状や課題等を含めた、教職をとりまく現状に関する基礎的知識を修得する。また、教員免許制度、採用と研修、職務内容、服務について基礎的な知識を獲得し、教職の特性、教職の意義と役割、教師に求められる資質能力についての理解を深める。最新の中央教育審議会答申等から教職に求められていることを考察する能力や、地域保護者とのかかわりをイメージできる能力を身につけ、チームとして組織的に対応する必要性や意義を理解できるようにする。			
〔到達目標〕 1. 教師のという仕事の特性を根拠を示して説明することができる。 2. 教職員の職務内容と服務に関して、法令解釈を踏まえて説明することができる。 3. 教職員の採用と研修制度を理解し、学び続けることの重要性を理解できる。 4. 学校内外の専門家等と連携するチームとして組織的に対応する必要性や意義を理解できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	教師という仕事の特性と存在意義： 受講生がこれまでに持ってきた教師像をふりかえる。その上で、「教師」「教員」「先生」「教諭」「教職員」等、多様な呼称で呼ばれる意味を概説し、公教育において、教員免許状が持つ意味を解説する。		東 宏行
2	教師の職業特性： 教師のライフコース研究の成果を紹介する。他の職種と比べた職業特性や教員文化について、各種調査から見えてくる特徴を概説する。		東 宏行
3	現代の教師に求められる役割と資質能力： 教育職員免許法を含め、教員免許制度の概略と特徴を概説する。また、教師の不祥事をめぐり、教育委員会がどのような施策を行っているのか、現状を解説する。		東 宏行
4	教師の資質と職務の概要： 児童生徒への指導だけでなく、学級経営、学校経営や保健室経営の他、多様な校務分掌があることを概説する。また、中教審答申（例えば「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」等）をテキストとして、教師に求められている資質能力について解説する。		東 宏行
5	教員の服務の特徴： 教育公務員特例法等の、教職員に関する法令を概説する。また、教職員の非違行為に関する処分について、懲戒処分や分限処分を含む処分の量定についても説明する。特に2023年度より施行された「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」やその背景についても触れる。		東 宏行
6	教員の採用と研修： 教員採用の現状としくみ、採用後の教員研修の現状について調べ、生涯にわたって学び続けることの必要性を考えるための演習を行う。グループ別に特定の地域の研修内容を調査し、共有する。		東 宏行
7	地域や保護者とのかかわりと働き方改革： 教師は、地域や保護者とどのような場面でかかわっているのかを概説する。また、働き方改革の進捗状況について、グループ別に調査し共有する。		東 宏行
8	チーム学校の中の教師： 学校内外の専門家と連携した活動の実際を、事例を含めて概説する。チームとして組織的に対応する必要性や意義について、グループ別に調査とディスカッションを行い、共有する。		東 宏行
定期試験は実施しない			

〔成績評価と基準〕 授業への参加度とリアクションペーパーの内容:60% 最終レポート(Final Report):40%
〔教科書〕 指定しない。適宜資料を配布またはデジタル資料の共有。
〔参考書・参考資料〕 文部科学省中教審答申(2022.12):「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～」。 国立教育政策研究所(2019):教員環境の国際比較:OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2018報告書-学び続ける教員と校長-,ぎょうせい。 国立教育政策研究所(2020):教員環境の国際比較:OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2018報告書[第2巻]-専門職としての教員と校長,明石書店。

授業科目 (英名)	教育制度論 (System of Education)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○東 宏行	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)。		
〔授業の概要〕 学校教育を中心とした教育制度の輪郭とその社会的背景や制度・システムに関する基礎について、基本法令の学習を含めて概説する。特に、19世紀に誕生する近代学校成立の歴史と特質を、社会史の研究成果を活用しながら人々の心情の変遷(たとえば我が子への愛情)を含めて概説する。その上で現代日本で展開している現代学校教育とその改革の動向を、制度・政策面だけでなく、保護者と教師の関係や地域と学校の連携、安全教育の展開、情報化社会の進展等にも触れながら、整理する。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、学校教育を中心とした公教育制度について、基礎的な知識を身につけ、基本法令を理解する能力を修得する。特に、19世紀に誕生する近代公教育制度の意義や原理、また、社会状況の変化の中で、現代学校教育に求められている事項を理解する能力を身につける。			
〔到達目標〕 1. 現代の学校教育を理解するための歴史的経緯を説明できる。 2. 社会の変化と学校教育の関係について、歴史的経緯を含めて具体的に把握し、現代日本の公教育制度を理念レベル及び法令レベルで理解できる。 3. 現代社会と教育の諸相について、学校と地域との連携や協働、学校安全の目的・方法等について、具体的事例を含めて理解できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	オリエンテーション及び近代公教育制度の展開(1)： 学校制度が、上(高等教育)から下降しながらつくられ、通学制の学校教育を生み出していった特徴を概観し、中等教育という学校制度の特徴を解説する。		東 宏行
2	近代公教育制度の展開(2)： 学校制度が下から上昇しながらつくられ、職業に向かう学びと一般的な学び(専門教育と普通教育)に分化して行く過程にも言及し、普通教育制度が誕生する背景や現代的意義を解説する。		東 宏行
3	現代社会と教育の諸相(1)： 公教育の意味と意義について、「学校教育法」を中心とした現行の諸法令を整理しながら、その特徴を概観する。また、教育委員会制度を含む教育行政の理念と仕組みを学ぶ。		東 宏行
4	現代社会と教育の諸相(2)： 子どもの生活の変化を踏まえ、現代の子ども・若者期の特徴を整理する。特に、スマホ・SNSの普及に伴う関係の変化が進む中で、どのような事柄が指導上の課題となっているのかを概説するとともに、GIGAスクール構想の展開に伴う指導上の課題について解説する。		東 宏行
5	現代社会と教育の諸相(3)： 学校周辺の教育機関(教育支援センター等)、コミュニティースクール、学校評議員の仕組み等について事例を含めて概観し、学校と地域との連携・協働の展開プロセスとその意義、方法について学ぶ。		東 宏行
6	教育改革の現在(1)： 学力と生きる力の関連、主体的・対話的で深い学び等、新学習指導要領の基礎となっている事項を概説し、文部科学省ホームページを共有しながら近年の教育政策の動向を調べる演習を行う。		東 宏行
7	教育改革の現在(2)： 学校保健安全法の概要、2001年の池田小学校事件以降の防犯教育の動向、2011年の東日本大震災以降の防災教育の動向等を学ぶ。特に「第3次学校安全の推進に関する計画」(2022年度から5年間)のポイントを、安全管理、安全教育の両視点で整理し、全体像を解説する。		東 宏行
8	教育改革の現在(3)： 現代の学校教育制度の課題として、どのような事柄があるのかを説明する。特に学校種間の接続問題や通称「教育機会確保法」等の具体例から、学校と地域、保護者との協働を含めた今後の具体的取り組みが求められる事項を解説し、演習を通じて各自の考察を深める。		東 宏行
定期試験は実施しない			

〔成績評価と基準〕 授業時に実施する確認テストとリアクションペーパーの内容:60% 最終レポート(Final Report):40%
〔教科書〕 汐見稔幸, 東宏行他(2011):よくわかる教育原理, ミネルヴァ書房.
〔参考書・参考資料〕 勝野正章他(最新年度版):教育小六法, 学陽書房. 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/ 国立教育政策研究所ホームページ http://www.nier.go.jp/

授業科目 (英名)	発達心理学 (Developmental Psychology)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	必修
担当教員	○野畑 友恵	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：必修 助 産 師：必修 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
〔授業の概要〕 発達とは、環境に適応するために、既に持っている機能を変容させたり、新たな機能を獲得したりすることであり、生まれてから死ぬまでの生涯を通して行われる。それぞれの発達段階における特徴を概観し、人生における発達過程と課題について学修する。			
〔授業の目的〕 「DP2. 科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる」力を養うために、生まれてから死ぬまでの年齢段階における発達過程と課題について学修する。			
〔到達目標〕 1. 幼児期から青年期にかけての発達の特徴を説明する。 2. 学習に関わる要因について説明する。 3. 発達をふまえた学習指導について説明する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】発達と学習 発達や学習の概要を学び、発達と学習の関係を理解する。		野畑 友恵
2	【講義】生涯発達の中の幼児期・児童期 発達過程全体の中での幼児期や児童期の発達を学び、幼児期・児童期の特徴を理解する。		
3	【講義】生涯発達の中の青年期 発達過程全体の中での青年期の発達を学び、青年期の特徴を理解する。		
4	【講義】認知発達 人の認知の発達過程を学び、子どものものごとの捉え方を理解する。		
5	【講義】情動発達 人の情動発達の過程を学び、子どもの情動発達の支援を理解する。		
6	【講義】社会化と自己の発達 人の自己理解の発達過程を学び、社会化と個性化のあり方を理解する。		
7	【講義】学習、記憶、メタ認知 学習に関わる認知の働きを学び、学習のしくみを理解する。		
8	【講義】動機づけ 動機づけのしくみを学び、学習を促す環境や働きかけを理解する。		
9	【講義】教育指導 さまざまな学習方法を学び、学び方の多様さを理解する。		
10	【講義】教育評価 さまざまな評価方法を学び、学びを捉える観点を理解する。		
11	【講義】協同学習 他者との学び合いのしくみを学び、協同学習を促す指導を理解する。		
12	【講義】仲間との関係 仲間との関係性とその影響について学び、子どもの仲間関係の支え方を理解する。		
13	【講義】学びと育ちを支える教室 学級が子どもに与える影響を学び、教師の役割を理解する。		
14	【講義】子どもの困難の理解と支援 学校生活における子どもの困難を学び、支援のあり方を理解する。		
15	【講義】まとめ 人の発達と学習のしくみを学び、就学期の子どもの支援を理解する。		
定期試験を実施する			

〔成績評価と基準〕

事前学習(15%)、事後学習(30%)、定期試験(55%)で評価する。
事前学習は、提示した質問に対して的確に答えているかを評価する。
事後学習は、自分の考えを的確に述べているかを評価する。

〔教科書〕

中谷素之, 中山留美子, 町岳(2022):エピソードに学ぶ教育心理学, 有斐閣ストゥディア.

〔参考書・参考資料〕

中道圭人, 小川翔大(2021):教育職・心理職のための発達心理学, ナカニシヤ出版.
坂上裕子, 山口智子, 林創, 中間玲子(2014):問いからはじめる発達心理学, 有斐閣ストゥディア.

授業科目 (英名)	特別支援教育概論 (Studies of Special Needs Education)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○関根 正	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のため 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		
〔授業の概要〕 発達障害や知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を修得する。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、特別支援教育の理念や仕組み、基本的な考え、通常学級に在籍しているさまざまな障害をもつ児童及び生徒について理解し、個別の教育的ニーズに対応しながら指導や支援を行っていくために必要な知識や方法について修得する。			
〔到達目標〕 1. 特別支援教育及びインクルーシブ教育の現状について理解する。 2. 障害や家庭環境等の問題を持つ幼児、児童及び生徒の理解と個別的・組織的支援方法について理解する。 3. 発達障害等のある児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について理解する。 4. 特別支援教育及びインクルーシブ教育の本質及び目標と今日的課題について理解する。 5. 個別の支援が必要な児童及び生徒への生活支援や学修支援について理解する。 6. 他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や方法について理解する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】特別支援教育及びインクルーシブ教育に関する制度の理念や仕組み		関根 正 (ゲストスピーカー) 中田 芳幸
2	【講義】個別の指導計画と個別的教育支援計画 障害や家庭環境（虐待、貧困、母国語等）の問題を持つ幼児、児童及び生徒の理解と支援		関根 正
3	【講義】特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解と支援① 発達障害をもつ児童及び生徒の理解－疾患特性と日常生活上の困難の理解		関根 正
4	【講義】特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解と支援② 発達障害をもつ児童及び生徒に対する学修支援と生活支援		関根 正
5	【講義】特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害をもつ児童及び生徒の理解－疾患特性と日常生活上の困難の理解		関根 正 (ゲストスピーカー) 中田 芳幸
6	【講義】特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解と支援④ 視覚障害・聴覚障害をもつ児童及び生徒に対する学修支援と生活支援		関根 正 (ゲストスピーカー) 中田 芳幸
7	【講義】学校と関係機関等との連携による支援		関根 正
8	【講義】特別支援教育及びインクルーシブ教育の現状と課題		関根 正
定期試験を実施する			
〔成績評価と基準〕 定期試験：60％ 授業への参加度（リフレクションの内容、ディスカッションへの参加度）：30％ 課題レポート：10％			
〔教科書〕 杉野学著(2019)：特別支援教育概論，大学図書出版。			
〔参考書・参考資料〕 文部科学省(2017)：幼稚園教育要領：平成29年告示，フレーベル館。 文部科学省(2018)：小学校学習指導要領：平成29年告示，東洋館出版社。 文部科学省(2018)：中学校学習指導要領(平成29年告示)，東山書房。 文部科学省(2019)：高等学校学習指導要領(平成30年告示)：平成30年3月告示，東山書房。 文部科学省(2019)：特別支援学校高等部学習指導要領，海文堂出版。 文部科学省(2018)：特別支援学校幼稚部教育要領，海文堂出版。 文部科学省(2018)：特別支援学校幼稚部教育要領；特別支援学校小学部・中学部学習指導要領，海文堂出版。 文部科学省(2019)：特別支援学校高等部学習指導要領，海文堂出版。			

授業科目 (英名)	教育課程論 (Theory of Curriculum)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○高山 裕一 浪花 寛	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	オムニバス		
施行規則に定める 科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		
〔授業の概要〕 カリキュラムについて、その概念の歴史的変遷、近年の改革動向、特徴的な開発事例、という観点から、より多角的に理解する。また、カリキュラム研究及び学習指導要領の検討をもとに、教育課程の意義や編成の方法を考察するとともに、カリキュラム・マネジメントの考え方・進み方について理解する。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。			
〔到達目標〕 1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】オリエンテーション 学習指導要領の位置づけ、教育課程編成の目的		高山 裕一
2	【講義】教育課程の機能 社会的背景と学習指導要領の変遷および改訂		高山 裕一
3	【講義】教育課程の意義 教育課程の役割、社会に開かれた教育課程		高山 裕一
4	【講義】教育課程の編成の目的 教育課程編成の基本的な考え方		高山 裕一
5	【講義】教育課程の編成の方法 教科横断的な教育課程の編成		浪花 寛
6	【講義】教育課程の編成の方法 長期にわたる教育課程の編成		浪花 寛
7	【講義】カリキュラム・マネジメント マネジメントの意義や重要性		浪花 寛
8	【講義】まとめ カリキュラム評価の基本的な考え方		浪花 寛
定期試験は実施しない			
〔成績評価と基準〕 授業参加状況(40%)、各授業時のレポート(40%)、最終レポート(20%) (第8回の授業時にテーマと提出期限を提示)で評価する。 なお、本科目においては、成績再評価は実施しない。			
〔教科書〕 特になし			
〔参考書・参考資料〕 授業の資料については、事前にLMSにて掲示。 ワークシート等は、当日配付。			

授業科目 (英名)	道徳・特別活動・総合的学習指導論 (Teaching Theory of Moral Education, Extracurricular Activities, Integrated Study)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○浪花 寛	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容		
〔授業の概要〕 道徳教育、特別活動、並びに総合的な学習の時間それぞれについて、歴史的変遷や教育課程上の位置付けなどを把握した上で、意義、特質、目標内容、並びに指導方法や今後の課題について考察する。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、道徳教育並びに特別活動について意義、目標及び内容を理解するとともに、総合的な学習の時間については意義、各学校において目標、内容、指導計画を作成する際の考え方を理解し、その実現に必要なとなる基礎的な能力を身に付ける。			
〔到達目標〕 1. 道徳教育の歴史、意義、課題、並びに道徳科の目標、主な内容を理解し、道徳とは何かを説明できる。 2. 特別活動の意義、目標、内容、各教科等との関連を理解し、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事それぞれの特質について説明できる 3. 総合的な学習の時間の意義、各学校において目標、内容、指導計画を作成する際の考え方、主体的・対話的で深い学びを実現するための指導上の配慮事項を理解し、教育課程における教科横断的な役割について説明できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】 ・道徳教育の歴史的変遷、意義、目標、現代社会における課題（いじめ、情報モラル等） ・全教育活動を通して行われる道徳教育と、道徳教育の要としての道徳科の授業の位置付け		浪花 寛
2	【講義】 ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む道徳科の授業 その① ～「主として自分自身に関すること」の内容項目と 多様な指導法～		
3	【講義】 ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む道徳科の授業 その② ～「主として人との関わりに関すること」の内容項目と 授業設計～		
4	【講義】 ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む道徳科の授業 その③ ～「主として集団や社会との関わりに関すること」の内容項目と 学習指導案・評価～		
5	【講義】 ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む道徳科の授業 その④ ～「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の内容項目と 模擬授業、授業改善～ ・保健室で養護教諭が行う道徳教育		
6	【講義】 ・特別活動の歴史的変遷、意義、目標 ・特別活動が目指す資質・能力の視点（人間関係形成、社会参画、自己実現）		
7	【講義】 ・自主的・実践的な態度を育む学級活動 その① ～内容(1) 学級や学校における生活づくりと合意形成に向けた話し合い活動～		
8	【講義】 ・自主的・実践的な態度を育む学級活動 その② ～内容(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全と特別活動の評価～		
9	【講義】 ・自主的・実践的な態度を育む学級活動 その③ ～内容(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現～		
10	【講義】 ・児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の目標と特質 ・家庭や地域との連携、養護教諭が特別教育において担う役割		
11	【講義】 ・総合的な学習の時間の創設の趣旨、意義、教育課程において果たす役割 ・総合的な学習の時間の特質（探究的な見方・考え方を働かせた横断的・総合的な学習）		

12	【講義】 ・主体的・対話的で深い学びを実現する指導計画の作成 ～探究的な学習活動「課題の発見」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の理解～	浪花 寛
13	【講義】 ・各学校において目標，内容を定める際の考え方と実践事例 その① ～「現代的諸課題に対応する横断的・総合的な課題」に関する単元と評価～	
14	【講義】 ・各学校において目標，内容を定める際の考え方と実践事例 その② ～「地域や学校の特色に応じた課題」に関する単元と評価～	
15	【講義】 ・各学校において目標，内容を定める際の考え方と実践事例 その③ ～「子供の興味・関心に応じた課題」に関する単元と評価（養護教諭の参画）～	
定期試験を実施する		
〔成績評価と基準〕 定期試験：60％ 授業への参加度（リフレクションの内容、ディスカッションへの参加度）：30％ 課題レポート：10％		
〔教科書〕 小学校学習指導要領解説「特別の教科道徳編」，中学校学習指導要領解説「特別の教科道徳編」，東洋館出版。 小学校学習指導要領解説「特別活動編」，中学校学習指導要領解説「特別活動編」，東洋館出版。 小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」，中学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」，東洋館出版		
〔参考書・参考資料〕 澤田浩一(2020):道徳的諸価値の探究「考え、議論する」道徳のために、学事出版。 山口満,安井一郎編(2010):特別活動と人間形成,学文社。 須藤康介(2019):教育問題の「常識」を問い直す 第2版 -いじめ・不登校から家族・学歴まで,明星大学出版。		

授業科目 (英名)	教育方法論 (Theory of Educational Method)	単位数	2 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○櫻田 淳 高山 裕一	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	オムニバス・一部複数		
施行規則に定める 科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める科目 区分又は事項等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
〔授業の概要〕 「主体的・対話的で深い学び」のある授業への転換を図る、学習者側から見直した教育方法について理解を深める。そこから得た知見から教育の方法や技術についての基礎的な概念、考え方、活用法を健康教育の授業実践をもとに学ぶとともに、情報活用能力を育てる情報機器等の活用法について体験を通して学ぶ。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、生涯をとおした健康教育推進のため、指導から支援への授業方法の転換について、学習者の学びのプロセスで生じる課題をもとに多面的に理解し、多様な支援について習得する。また、1人1台端末を使った授業の工夫について理解する。			
〔到達目標〕 1. これからの社会で必要となる学力について理解し、学習者の学びを重視した授業方法の見直しを図ることができる。 2. 健康教育推進のためのチームとしての学校教育を理解し、養護教諭の立場や分担などについて考えることができる。 3. 単元や他教科と関連した学習指導について理解し、「主体的・対話的で深い学び」のある学習指導案を構成することができる。 4. 1人1台端末の効果的な活用について理解し、健康教育に関わる教材を作成することができる。			
回数	授業計画		担当教員
1	【講義】オリエンテーション 学習者側からの教育観の転換		櫻田 淳 高山 裕一
2	【講義】学びと支援 1 学ぶ目的とアクティブラーニング		高山 祐一
3	【講義】学びと支援 2 学習意欲と継続の壁		高山 祐一
4	【講義】学びと支援 3 主体的・対話的で深い学びと支援		高山 祐一
5	【講義】チームによる教育 1 協働的な学習		高山 祐一
6	【講義】チームによる教育 2 養護教諭の役割		櫻田 淳
7	【講義】健康教育の実際 1 生涯教育と教育課程		櫻田 淳
8	【講義】健康教育の実際 2 養護教諭が行う健康教育の実際		櫻田 淳
9	【講義】健康教育の実際 3 健康教育の実際 学習指導案の構成		櫻田 淳
10	【講義】教育におけるICTの活用 1 ICT機器の基本的な使い方とメディアの留意点		高山 裕一
11	【講義】教育におけるICTの活用 2 デジタルのよさを生かした1人1台端末		高山 裕一
12	【講義】教育におけるICTの活用 3 健康教育における教材作成		櫻田 淳
13	【講義】教育技術 1 授業時の基本的な教育技術と留意点		高山 祐一
14	【講義】教育技術 2 授業時の基本的な教育技術と留意点－養護教諭としての教育・授業		櫻田 淳
15	【講義】まとめ いろいろな評価 振り返り		櫻田 淳 高山 裕一

定期試験は実施しない
〔成績評価と基準〕 授業参加状況(40%)、各授業時のレポート(40%)、最終レポート(20%) (最終の授業時にテーマと提出期限を提示)で評価する。 なお、本科目においては、成績再評価は実施しない。
〔教科書〕 特になし
〔参考書・参考資料〕 授業の資料については、事前にLMSにて掲示。 ワークシート等は、当日配付。

授業科目 (英名)	生徒指導論 (Principles of Student Guidance)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○東 宏行	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	生徒指導の理論及び方法		
〔授業の概要〕 学校教育において、児童生徒に対する生徒指導は、かつて教科指導と並ぶ教育の両輪とされた。教科ごとのカリキュラムにしたがって知識技能を教授する教科指導に対し、児童生徒の問題行動とその予防に関わる指導を主とする生徒指導という位置付けである。しかし、近年は、両者は分化した活動ではなく、ともに一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、知的な能力や社会的資質、行動力を高めることを目指して行われる教育活動という認識へと変化しつつある。 近年の生徒指導は、教育相談という領域を含み、対象となる諸問題も多様化し、専門職との連携においても様々な取り組みが展開している。インターネットの普及や家族関係の変化等を背景に、生徒指導の対象は日々拡張しており、指導方法や制度上の仕組みも複雑化している。本科目ではそうした現状に対し、最新の課題や取り組みを題材とし、広い視野から今後の展望を描く。具体的には「生徒指導提要」を理解し深められる能力を養う。さらに、いじめ防止対策を含む最新の生徒指導の実践を学習し、多様な生徒指導に対応できる資質能力を身につける。			
〔授業の目的〕 「DP3. 自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる」力を養うために、「生徒指導提要」を理解し、生徒指導の実践への応用できる能力を身につける。その際、児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、知的な能力や社会的資質、行動力を高めることを目指して行われる教育活動としての生徒指導を実践できる基盤を涵養する。また、教育相談という領域を含み、対象となる諸問題も多様化する中で、専門職との連携する視点やインターネットの普及や家族関係の変化等を背景に注視する必要がある対象のひろがりについて理解を深める。			
〔到達目標〕 1. 生徒指導の定義、意義、原理、2 軸 3 類 4 層構造について歴史的経緯を踏まえて説明できる。 2. 児童生徒の自己指導能力を養うための具体的な生徒指導の在り方を理解し、例示することができる。 3. 生徒指導の進め方を、制度とかかわり方の両面から理解し、教員間で協議する資質能力を身につける。 4. 不登校、いじめ等の多様な個別課題を理解し、対応と連携方法について考えることができる。			
回数	授業計画		担当教員
1	オリエンテーション及び生徒指導の概要： 生徒指導提要（2022年デジタルテキスト版）の活用方法と構成の概要を解説した上で、生徒指導提要第1章をテキストに、生徒指導の全体像を把握するためのグループ演習を行う。演習後、生徒指導の定義、意義、原理、2 軸 3 類 4 層構造に関する理解を深めるための解説をする。		東 宏行
2	教育課程と生徒指導： 生徒指導提要第2章をテキストに、特別活動を中心に、学習指導要領上の教育課程と生徒指導の関係について解説し、集団指導と個別指導の方法原理について説明する。		東 宏行
3	生徒指導のしくみ： 生徒指導提要第3章をテキストに、学校における生徒指導体制の在り方と関連法令について概説する。また、具体的事例を用いて、生徒指導と教育相談の関係、生徒指導の展開、生徒指導主事の役割と養護教諭の連携についての説明する。		東 宏行
4	自己指導能力と自己の存在感： 生徒指導の重要概念（自己指導能力と自己の存在感等）について概説し、実践上の4つの視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）に関する解説を踏まえ、グループ毎に理解を深める演習を行う。具体的課題として校則の自己点検活動等にも触れる。		東 宏行
5	生徒指導の対象理解： 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」（最新版）を活用し、グループごとに調査演習に取り組み、現代の個別課題を整理する。		東 宏行
6	生徒指導上の課題のひろがり（1）： 暴力行為、少年非行、不登校、いじめに関する定義、法令、現状、対応や連携に関する概説と演習を行う。また懲戒の事例や体罰と懲戒の違いについても説明する。		東 宏行
7	生徒指導上の課題のひろがり（2）： 児童虐待、子どもの貧困、性に関する課題に関する定義、法令、現状、対応や連携に関する概説と演習を行う。また発達障害や外国につながる児童生徒への配慮についても解説する。		東 宏行

8	生徒指導上の課題のひろがり（3）： SNS、インターネットにかかわる問題、自殺に関する定義、法令、現状、対応や連携に関する概説と演習を行う。また、SNSを活用した生徒指導の試行例についても説明する。	東 宏行
定期試験は実施しない		
[成績評価と基準] 授業時に実施する確認テストとリアクションペーパーの内容:60% 最終レポート(Final Report):40%		
[教科書] 文部科学省「生徒指導提要(令和4年12月)」デジタルテキスト (https://www.mext.go.jp/content/20230220-mxt_jidou01-000024699-201-1.pdf) 東宏行, 伊東毅(2023):新時代の生徒指導, 放送大学教育振興会.		
[参考書・参考資料] 文部科学省(最新版):「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」. 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/ 国立教育政策研究所ホームページ http://www.nier.go.jp/		

授業科目 (英名)	教育相談論 (Lecture in School Counseling)	単位数	1 単位
		看護学部における 必修・選択等の別	自由
担当教員	○東 宏行	保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別	保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修
担当形態	単独		
施行規則に定める 科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める科 目区分又は事項等	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
〔授業の概要〕 学校における教育相談の意義と理論、教育相談を進める際に必要な基礎的知識、教育相談の具体的な進め方や取組みについて概説と演習を行う。前半（第1回～4回）は、カウンセリングに関する基礎的知識を含んだ諸理論の概説を中心に進める。後半（第5～8回）は、個別の諸課題に対応した具体的な展開について、演習を含めた授業を行う。			
〔授業の目的〕 児童生徒の発達段階に即しながら、個々の心理的特質や課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識と技法を修得する。学校教育での教育相談の意義と、関連する基礎理論や概念を理解した上で、カウンセリングの基礎理論や基礎的技法を理解し、カウンセリングマインドを身につける基盤を涵養する。また、開発的カウンセリングの技法等を活用した、教育相談の具体的な方法についての理解を深める。さらに、専門職、専門機関との連携を通じた組織的な対応、支援について理解し、不登校、いじめ等の個別課題に対応する教育相談の技法を実践するための資質能力を涵養する。			
〔到達目標〕 1. 学校教育での教育相談の意義と、関連する基礎理論や概念を説明できる。 2. 教育相談に必要なカウンセリングの基礎理論や基礎的技法を理解し、カウンセリングマインドについて説明できる。 3. 教育相談の具体的な方法や専門職、専門機関との連携を通じた組織的な対応、支援について理解できる。 4. 不登校、いじめ等の個別課題に対応する教育相談の技法を理解できる。			
回数	授業計画		担当教員
1	学校における教育相談の意義と課題： 教師による教育相談と専門職（心理カウンセラー等）によるカウンセリング、校外の様々な相談窓口等、多様な相談活動の全体像を概説し、学校における教育相談、カウンセリングマインドの意義と特徴について説明する。		東 宏行
2	教育相談の諸理論： 臨床教育学、学校心理学、カウンセリング心理学等の諸理論から、教育相談を支援する諸理論を概説する。心理カウンセリングと教育相談の違いと共通性、開発的カウンセリングを活用する意義について説明する。		東 宏行
3	カウンセリングマインドの輪郭と実際： カウンセリングマインドの考え方や意義、必要性が生じた歴史的経緯の概説と学校で活用できるカウンセリングの基本技法（受容、傾聴、共感的理解、構成的エンカウンター）の説明と演習を行う。		東 宏行
4	教育相談体制と組織の概要： 校内相談体制の概要とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等の専門職との連携について概説する。ゲストスピーカーとして現職のスクールカウンセラーの方の話を聞き、ディスカッションを行う。		東 宏行
5	教育相談の進め方： いじめを主な例として、教育相談と連携の進め方を概説し、グループ別演習を行う。		東 宏行
6	教育相談の進め方： 不登校を主な例として、教育相談と連携の進め方を概説し、グループ別演習を行う。		東 宏行
7	教育相談の進め方： 自殺と児童虐待を主な例として、教育相談と連携の進め方を概説し、グループ別演習を行う。		東 宏行
8	まとめと総合演習： 教育相談における保健室、養護教諭の役割と実際について概説し、健康相談や健康課題に対応した教育相談活動に関する演習を行う。		東 宏行
定期試験は実施しない			
〔成績評価と基準〕 授業、演習への参加度とリアクションペーパーの内容：60％ 最終レポート(Final Report)：40％			

〔教科書〕

文部科学省「生徒指導提要(令和4年12月)」デジタルテキスト

(https://www.mext.go.jp/content/20230220-mxt_jidou01-000024699-201-1.pdf)

公益財団法人日本学校保健会(2022):教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引-令和3年度改訂-(電子ブック).

文部科学省(2018):いじめ対策に係る事例集.

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2018/09/25/1409466_001_1.pdf)

〔参考書・参考資料〕

東宏行,伊東毅(2023):新時代の生徒指導,放送大学教育振興会.

平木典子(2004):新版 カウンセリングの話(朝日選書),朝日新聞社.

文部科学省(最新版):児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要.

文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/>

国立教育政策研究所ホームページ <http://www.nier.go.jp/>

授業科目 (英名)	教職実践演習 (Teaching Practical Seminar)		単位数		2 単位	
			看護学部における 必修・選択等の別		自由	
担当教員	○東 宏行 金子 昌子 櫻田 淳 関根 正		保・助・養の受験資格 (免許状取得)のための 必修・選択の別		保 健 師：自由 助 産 師：自由 養教一種：必修	
担当形態	オムニバス 一部複数					
施行規則に定める 科目	教育実践に関する科目					
施行規則に定める科 目区分又は事項等	教職実践演習					
履修時期	4 年次後期	履修履歴の把握	○	学校現場の意見聴取	○	
受講者数	3 0 人（一部授業はグループに分けて実施・1 グループ 5 名、6 グループ）					
〔授業の概要〕 ・セッション1（1回～2回）においては、履修カルテをもとに、養護教諭としての使命感や責任感、教育的愛情、社会性や対人関係能力に関する資質能力について、大学の授業や養護実習などを通じて学んだ教育観・学校観・教師観・養護教諭観について、小集団で討議し課題を抽出する。さらに個別指導により学生一人一人の発展的、補完的な課題を明らかにする。 ・セッション2（3回～10回）においては、養護教諭の指導力として、企画運営にあたる就学時健康診断、歯科保健指導による実践力を培う。 ・セッション3（11回～15回）においては、児童生徒理解や保健室経営等に関する資質能力について、児童生徒や保護者の理解を深め、学校保健計画や保健室経営の観点から、集団指導や健康相談、などの事例検討等を通して必要な資質能力の基礎を培う。また、4月より養護教諭として勤務を始めるにあたり、兼ね備えておくべき力量の確認を行う。						
〔授業の目的〕 「DP4. プロフェッショナルリズムを身につ付け、倫理的行動をとることができる」力を養うために、養護教諭を目指す自分の現状と課題を明確化し、必要に応じて、不足する専門的知識や技術等を補い、その定着を図る。また、自分が目指す養護教諭像を明確化しながら、学び続けるための課題を整理する。						
〔到達目標〕 1. 教員・養護教諭に必要とされる知識・技術および資質能力について説明し、自己評価することができる。 2. 養護教諭としての自己の現状と課題を明確化し、評価することができる。 3. 自己の目指す養護教諭像を、その理由を含めて説明することができる。						
回数	授業計画				担当教員	
1	オリエンテーションと履修カルテのふりかえり（1）： 教育実践演習の目的と計画・担当者の紹介、到達目標の解説とともに各自の履修カルテのふりかえりを行い、その結果をまとめる。				東 宏行	
2	履修カルテのふりかえり（2）： 各自の履修カルテについて、前回まとめた結果を小集団で発表、検討を進め、ひとりひとりの学習課題を明確にする。				東 宏行	
3	健康教育のふりかえり（1）： 養護実習と看護学実習で行った健康教育関係のかかわり・支援・授業をふりかえり、保健の授業に活かすための知識や技能を整理し、授業設計や授業内容、教育方法等を検討する。				金子 昌子	
4	健康教育のふりかえり（2）： 養護実習で行った健康教育関係のかかわり・支援・授業に関する事例検討(グループ討論とリフレクション（1）)				金子 昌子	
5	健康教育のふりかえり（3）： 養護実習で行った健康教育関係のかかわり・支援・授業に関する事例検討(グループ討論とリフレクション（2）)				金子 昌子	
6	保健室経営能力（保健室経営・学校保健安全計画案の作成と多様な技術の向上）（1）： 保健室経営・学校保健安全計画案の作成				櫻田 淳	
7	保健室経営能力（保健室経営・学校保健安全計画案の作成と多様な技術の向上）（2）： 多様な救護法を含む多様な技術の実践				櫻田 淳	
8	児童生徒とのかかわり方（学級支援と生徒指導）（1）： 生徒指導との関係、保健室登校等についてグループ討論				東 宏行	
9	児童生徒とのかかわり方（学級支援と生徒指導）（2）： 健康相談活動と I C T を活用した児童生徒とのかかわり方				東 宏行	

10	チーム学校における養護教諭（校内での連携方法、校外専門機関との連携）（１）： 校内での連携（生徒指導主事、校医、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携について、グループ討論）	東 宏行 関 根正
11	チーム学校における養護教諭（校内での連携方法、校外専門機関との連携）（２）： 校外の専門機関との連携（児童相談所、福祉事務所、病院・医療機関、警察等との連携について、グループ討論）	東 宏行 関 根 正
12	養護教諭執務の実際（養護教諭のレクチャーと対話による課題の探究）（１）： 現職の養護教諭のレクチャー（対面または遠隔）をもとに、ディスカッションを通じて、養護教諭の仕事に関する理解と考察を深める。	櫻田 淳
13	養護教諭執務の実際（養護教諭のレクチャーと対話による課題の探究）（２）： 現職の養護教諭のレクチャー（対面または遠隔）をもとに、ディスカッションを通じて、養護教諭の仕事に関する理解と考察を深める。	櫻田 淳
14	養護教諭の資質、能力と専門性の現在： 直近の教育状況における健康課題と養護教諭の役割に関する検討及び履修カルテの自己評価の点検。	東 宏行 関 根 正 桜田 淳
15	養護教諭の資質、能力と専門性の展望： 研修のイメージを持ち、学び続けるための課題の明確化。	東 宏行 関 根 正 桜田 淳
定期試験は実施しない		
〔成績評価と基準〕 授業への参加度（グループ討論、発表）と各回のリアクションペーパー（小レポート等によるリフレクション）による評価:50% 課題レポート:30% 履修カルテ（振り返りに関する教員との面談）の評価:20%		
〔教科書〕 学校保健・安全実務研究会:新訂版 学校保健実務必携 第5次改訂版, 第一法規. 文部科学省(2022. 3):教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引-令和3年度改訂-.		
〔参考書・参考資料〕 公益財団法人日本学校保健会(2021):学校保健の課題とその対応-養護教諭の職務等に関する調査結果から- 令和2年度改訂.		